

履修要覧

2015年度

この履修要覧には、本学部の学生が必ず知っておかなければならない学則、卒業に必要な単位数やその履修方法など、学修を進めていく上で指針となる事項が集約されています。

総合大学である日本大学ならではの他学部での履修（相互履修）、国際化に伴う交換留学や海外留学制度、またそこで修得した単位の取り扱い、手続き方法についても説明しています。

大学生活においては、各種届出書類を提出することが必要になります。それら書類の書き方や提出先などについても記載してありますので、この履修要覧で確認してください。より充実した学生生活を送るために、大学での学修のみならず、フィールドスタディの手引きとしてこの履修要覧を活用してください。

本学部学生は、入学年度交付の「履修要覧」に従って学修してください。履修を希望する授業科目は、年度毎の「授業時間割表」、「授業計画（シラバス）」を参照してください。なお、編入学生・転部生・再入学生は該当する年次の「履修要覧」に従って学修してください。

在学期間中の必要事項が網羅されているこの履修要覧は、入学時のみに配布しますので、卒業するまで紛失しないようにしてください。紛失者に対する再交付はいたしません。なお、履修要覧の内容が変更される場合は、ガイダンスや掲示において変更内容をお知らせします。

目 次

I 国際関係学部の概要

国際総合政策学科	1
国際教養学科	2

II 各種手続き等

授業	3
インターネット・携帯電話を利用した休講情報	4
欠席	5
試験	8
レポート	12
成績と単位	13
単位認定	15
休学・復学・退学	17
各種証明書	19

III 履修登録

履修の手順と授業の形態	20
履修科目の登録	21
受講届の提出	21
履修登録の注意点	21
履修登録の削除・追加	22
履修単位の制限	22
履修登録の流れ	23
履修登録方法	25

IV 卒業の要件

卒業に必要な単位	36
----------------	----

V 履修上の注意点と科目

履修上の注意点	37
国際総合政策学科科目一覧	38
国際教養学科科目一覧	40
外国語履修条件等	42
ゼミナール・卒業論文	43
国際交流（インターンシップ）	44

国際交流（外国語実習）	45
相互履修科目	46
単位互換科目	47
遠隔授業	48
教職課程	49
「日本語教育能力検定試験」関連分野科目	53
VI 履修モデル	56
国際総合政策学科	57
国際教養学科	65
VII 海外留学	
●留学を思い立ったら	71
国際関係学部における留学に関する取扱い	71
各種留学制度	72
日本大学海外学術交流協定校	74
国際関係学部海外学術交流覚書・合意書締結校	74
ティーチング・インターンシップ・プログラム	75
VIII 日本大学学則（抄）	77
IX 部科校所在地一覧	83
索引	84

日本大学国際関係学部教育方針

日本大学国際関係学部では良質な学位授与を実現するため、その教育方針を次のとおり定めます。

1 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学部所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシー及び各学部の教育研究上の目的に沿って設定した卒業要件を満たした者に学士（国際関係）の学位を授与します。

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに基づいた学士の養成を目指し、1年次では「スタディ・スキルズ」や「キャリアデザイン」を主軸とした「基礎科目」において学修の方法や国際関係に関する学問の基礎を学び、2年次以降は「学科共通専門科目」「学部共通科目」を中心に国際社会や国際交流の分野で活躍しうる理論と実践力を身に付けます。また、「総合教育科目」における幅広い教養と「専門外国語科目」を中心とした高度な外国語運用能力を習得しうる、学生の多様なニーズに対応したカリキュラムを展開します。さらに、国際総合政策学科で「国際関係」・「国際ビジネス」・「国際協力」の3つの関連科目群、国際教養学科では「国際文化」・「コミュニケーション」の2つの関連科目群を設置するとともに多様な履修モデルにより、知識やスキルを体系的に身に付けることで、国際社会における様々な局面において活躍できる人材を養成します。

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

国際関係学部は日本大学の理念「自主創造」のもと、広く知識を世界にもとめる人材の育成を目的とします。本学部の目指す教育は、自らの価値を高め世界で活躍できるように、知りたいという好奇心、学びたいという探究心に応えます。そこで得た問題解決能力およびコミュニケーション能力は、国際社会や国際交流などのさまざまな分野での活躍を期待させます。世界の多様な民族、言語、宗教、文化、社会、環境などをグローバルな視点で学びたい人を広く求めます。

日本大学国際関係学部の教育研究上の目的

国際関係学部

日本大学の教育理念「自主創造」を実践するとともに、国際社会で活躍するために必要な問題解決能力、社会の各分野で提言できる政策能力、高いコミュニケーション能力を兼ね備えた、国際交流や国際社会のさまざまな分野で活躍できる人材を養成する。

国際総合政策学科

国際交流や国際社会のさまざまな分野で、困難な問題に対しても、高度な意志決定ができる人材を養成する。国際人として欠かすことのできない英語をはじめとした外国語能力を向上させるために基礎教育を徹底して行う。総合的な教養力を養うとともに、国際関係、国際ビジネス、国際協力の3分野を柱として、国際実務に必要な専門知識とスキルを養成する。

国際教養学科

多文化共生社会において、異文化理解を深めるための専門知識と英語を中心とした外国語の実践的な運用能力のある人材を養成する。様々な国・地域における高度な文化的専門知識を養うとともに、国際文化とコミュニケーションの2分野を柱として、実務に耐える応用力を養成する。

I 国際関係学部の概要

国際関係学部には、世界を舞台に活躍するための実務的な知識を学ぶ国際総合政策学科と、高度な異文化理解と外国語を運用する能力を身に付ける国際教養学科の2学科が設置されています。

国際総合政策学科

私たちの周りで日々起きている経済、環境、紛争などの問題は、今や特定の国や地域のものではなく、その解決にはグローバルな視野が必要とされています。本学科では、こうした問題に直面した時に、素早くその本質を見抜き、解決するための政策を決定し実行することのできる人材を養成します。そのために、2年次からは国際関係、国際ビジネス、国際協力の3つの関連科目群を展開し、それぞれの科目群を超えて学べる機会を提供します。

国際関係コース（関連科目群）

激動する世界の「現在」と「未来」を読み解くため、国際社会の構造を多様な側面から捉え、安全保障や外交における政策分析・立案能力の基礎を学ぶとともに、国際社会を動かすルールや力関係を理解し、あるべき姿を模索します。

国際ビジネスコース（関連科目群）

グローバル化した経済社会で活躍するための国際経済・経営の基礎と金融、証券、流通、情報、ベンチャービジネスといった国際ビジネスの幅広い専門知識を学びます。

国際協力コース（関連科目群）

国際社会の諸問題を解決し、地球環境の保全や途上国の持続可能な発展などを実現するため、国際協力の舞台で、リーダーとなれる知識、技術を学びます。

※2年次からは、学科に設置されているコースから、各自の履修モデルに見合うコースを選択していきましょう。

国際教養学科

ヒトとモノがダイナミックに交錯する今日の世界では、異なる言語、文化、宗教間での摩擦が私たちの身近なところで起きており、多文化共生社会の実現が求められています。本学科では、単に「読める」、「書ける」から「使う」、「話せる」外国語を身に付けると共に、異文化理解に欠かせない歴史、思想、芸術、宗教、文学を幅広く学びます。そのために、2年次からは国際文化、コミュニケーションの2つの関連科目群を展開し、異文化理解力と外国語運用能力を習得した国際人を育てます。

国際文化コース（関連科目群）

世界の文化に関する幅広い知識を学ぶとともに、現代の国際社会の成り立ちを知り、異文化理解能力を身に付け、行動できる力を養います。

コミュニケーションコース（関連科目群）

外国語を駆使し、自国の文化や社会について正しく発信できる、高度なコミュニケーション能力を磨きます。

※2年次からは、学科に設置されているコースから、各自の履修モデルに見合うコースを選択していきましょう。

Ⅱ 各種手続き等

授 業

① 授業時間

月曜日から土曜日までの授業時間は、原則として次のとおりです。

1 時限	9 : 00～10 : 30
2 時限	10 : 45～12 : 15
3 時限	13 : 00～14 : 30
4 時限	14 : 45～16 : 15
5 時限	16 : 30～18 : 00
6 時限	18 : 15～19 : 45

② 休講措置

やむをえない理由で授業が休講となる場合は、原則として掲示によって連絡します。

休講掲示は正門掲示板及び三島駅北口校舎教務課掲示板(2階)に掲示しますので、必ず確認してください。また、インターネットや携帯電話でも確認できます。(p.4 参照)

休講となった授業については、後に補講を行いますので、掲示に注意してください。

事前に連絡がなく、授業開始時刻から30分を過ぎても担当教員が教室に来ない場合は、直ちに講師室又は国際研究室に問い合わせる指示を受けてください。

特別の休講措置

次のいずれかに該当する場合、各条件に伴い授業措置を行います。

1. 台風等の自然災害の場合 ※

- ① 午前6時時点のニュース放送で交通機関が運転見合わせの時→1・2時限授業休講
- ② 午前9時時点のニュース放送で交通機関が運転見合わせの時→終日休講
- ③ 注意報発令はあるが交通機関が正常運行の時→平常授業

2. 交通機関のストライキの場合 ※

- ① 午前6時までにストライキが解除されない時→1・2時限授業休講
- ② 午前9時までにストライキが解除されない時→終日休講

※対象交通機関(一部区間の運転中止を含む)

- ① JR東海道本線(三島経由の東京-静岡間)
- ② JR東海道新幹線(三島経由の東京-静岡間)

3. 大規模地震の発生が予想される時

東海地方を中心とする大規模な地震の発生が予想される時、気象庁所管の「地震防災対策強化地域判定会」が召集され、状況により「警戒宣言」が発令されます。判定会が召集されたことを確認した時点で休講とします。

③ 補 講

やむをえず休講となった授業は、担当教員の指定する日時に補講を行います。補講についてはUNIVERSAL PASSPORT(以下UNIPA)、国際研究室前の掲示板及び三島駅北口校舎教務課掲示板(2階)で確認してください。

④ 教室変更

学校行事又は担当教員の指示により、教室を変更することがあります。教室変更についてはUNIPA、国際研究室前の掲示板及び三島駅北口校舎教務課掲示板(2階)で確認してください。

インターネット・携帯電話を利用した休講情報

日本大学国際関係学部では休講情報等が下記のとおりインターネット及び携帯電話から、UNIPAで確認することができます。

1. 掲載内容 ①休講情報
②休校通知（台風接近時など）
③その他（お知らせ／呼び出しなど）

2. アクセス媒体 ①パソコン ②携帯電話

3. 利用するまでの準備

入学時の開講式で配付されるユーザIDとパスワードでログインしてください。ユーザIDとパスワードは履修登録の際にも使用しますので、大切に保管してください。

4. アクセス方法

国際関係学部ホームページ（<http://www.ir.nihon-u.ac.jp>）トップ画面にあるUNIVERSAL PASSPORTからログインし、「休講・補講・教室変更」を確認してください。



5. 利用にあたっての注意事項

- 大学への直接の電話による問い合わせは控えてください。
 - 自分のパスワードを他人に知られないようにしてください。
 - パスワードを忘れてしまった場合は、情報教育センター（15号館3階）で学生証を提示し、パスワード参照を申し出てください。
 - ネットワーク障害時やメンテナンス時は利用できません。その場合、ログイン画面下部に掲載します。
- 一度のアクセスでつながらない場合がありますので、時間をおいてアクセスしてください。

欠 席

欠席の手続き

授業の欠席回数が3分の1を超えた場合などは、原則として評価の対象となりません。やむをえない理由で授業を欠席する場合は、所定の手続きが必要になります。この手続きは、欠席する期間や欠席理由により、次の3つに分けられます。ただし、各欠席届の取り扱いは、各授業の担当教員の判断に委ねられていますので、欠席届を提出すれば出席扱いになるとは限りませんので注意してください。

授業欠席届を偽造するなど、不正に提出する事例がみられます。取り扱いには十分注意してください。

欠席理由	欠席届の種類	欠席届の受領	欠席届の提出先
① 病気その他やむをえない理由で、 <u>7日（1週間）未満</u> 授業を欠席した場合	授業欠席届	各自コピー （次ページ）	授業担当教員
② 病気その他やむをえない理由で、 <u>7日（1週間）以上</u> 授業を欠席した場合		教 務 課	授業担当教員 及び 教 務 課
③ 就職活動により、授業を欠席する場合	就職活動による 授業欠席届	就職指導課	授業担当教員

※定期試験を病気その他やむをえない理由で欠席する場合はp.10を参照してください。

授業欠席届

- ① 授業を7日（1週間）未満欠席した場合は、次ページの書式をコピーし、必要事項を記入後、クラス担任の認印を得たうえで、授業担当教員に提出してください。また、「授業欠席届」には、病気その他の理由を証明する書類（診断書等）を添付してください。
- ② 授業を7日（1週間）以上欠席した場合は、以下の手続きが必要となります。

7日以上欠席用書式

授 業 欠 席 届

平成____年____月____日

日本大学国際関係学部長 殿

国際関係学部____学科____年____クラス

[学生番号_____]

フリガナ
本人氏名 _____ 印

わたくしは、下記のとおり欠席いたしましたので、お届けいたします。

記

1 欠席期間 平成____年____月____日（____）から
平成____年____月____日（____）まで

2 欠席理由 _____

3 欠席理由を証明する書類 _____ (別紙)

担 任

■授業欠席届提出上の注意

- ・「授業欠席届」の用紙（左記書式）を教務課で受け取ってください。
- ・「授業欠席届」には、**病気その他の理由を証明する書類（診断書等）を添付してください。**
- ・「授業欠席届」は、本人がクラス担任の認印を得て、教務課に原本、授業担当教員にその写しを提出してください。

授業欠席届

平成____年____月____日

授業担当者 _____ 先生

国際関係学部 _____ 学科 _____ 年 _____ クラス

[学生番号 _____]

フリガナ

氏 名 _____ (印)

わたくしは、下記のとおり欠席いたしましたので、
お届けいたします。

記

1 欠席期日 平成____年____月____日 (____)

2 授業科目 (____) 時限 _____

3 欠席理由 _____

4 添付書類 別 紙

担 任

就職活動による授業欠席届

「就職活動による授業欠席届」は、企業訪問、企業セミナー、面接試験などの日時が授業日と重なり、授業に出席できない場合に使用することができます。ただし、訪問先企業の証明印を受領する等、届出にあたってはルールがありますので、届出用紙及び詳細については、必ず就職指導課窓口で事前に確認をしてください。

「就職活動による授業欠席届」の取り扱いは、各授業の担当教員の判断に委ねられていますので、この欠席届を提出すれば出席扱いになるとは限りませんので注意してください。

就職活動は、勉学に支障のない範囲で行うものです。授業日程等を十分考慮し、無理のない就職活動を行ってください。

試 験

定期試験

定期試験は、学期末又は学年末に行うもので、前期末試験と学年末試験があります。前期末試験は、前期で終了する授業科目について行います。学年末試験は、通年科目及び後期で終了する授業科目について行います。定期試験は授業期間終了後、別途期間が設定されます。

- ① 定期試験は講義科目・外国語科目について実施します。(実技・実習・演習・会話科目は、原則として定期試験を行わず、授業時間内の平常成績で評価します)
- ② 通年の科目は学年末に1回、半期終了の科目はその学期末に1回実施します。
- ③ 各科目の試験の時間割は、実施の約2週間前に発表します。
- ④ 定期試験で受験できる科目は、履修登録している科目だけです。登録している科目であっても、実質的に受講者と見なされない理由がある場合(授業を指定された回数以上欠席した等)は、受験を認められないことがあります。(その場合、成績表には「E」と記載されます)
- ⑤ 病気その他やむをえない理由により定期試験を受けることができなかった者で追試験の受験を希望する場合は、所定の「試験欠席届」を必ず教務課に提出してください。(p.10参照)

追試験

追試験は、定期試験を実施した科目のうち、科目担当教員が実施を判断した科目のみについて設定され、病気・事故その他やむをえない理由によって定期試験を受験できなかった者に対し実施します。所定の手続きにより許可を与えられた科目に限り、その年度あるいはその学期の定期試験の後に行います。

- ① **受験希望者は、定期試験の当該科目試験日から7日以内(ただし7日目が日曜・祝祭日にかかる場合は、その翌日が締切となります)に「試験欠席届」を教務課へ提出しなければなりません。この「試験欠席届」(p.10参照)を提出しない場合は、追試験を受験することができません。**用紙は教務課で交付します。
- ② 「試験欠席届」には欠席理由を証明する書類を必ず添付してください。
- ③ 追試験の科目・時間割などについては事前に掲示によって発表します。
- ④ 追試験の結果による科目の総合評価は、定期試験受験者との公平さが保たれる範囲において行われます。
- ⑤ 追試験を欠席した場合、いかなる理由があってもこれにかわる試験は実施されません。

受験上の注意

- ① 定められた期日までに履修登録を行わなかった者、あるいは追試験の受験資格のない者は、定期試験あるいは追試験を受験できません。また、正しく履修登録されていない科目や、試験欠席届を提出していない追試験科目は受験できません。
- ② **学生証を携帯していない者は受験できません。**ただし、学生証を携帯していない場合でも、**所定の手続きを経て「仮学生証」を交付された者に限り受験できます。**(p.11参照)
試験中は学生証（または仮学生証）をケースから出して、机上に顔写真を上にして提示してください。
- ③ 受験者は定められた時間内に指定の試験場へ入場し、監督者の指示を待ち、試験中は監督者の指示に従ってください。
- ④ 試験場における座席は監督者の指示に従ってください。
- ⑤ 机には筆記用具及び許可された参照物以外は置かないでください。なお、**同一参照物を他の受験者と共同で使用することはできません。**
- ⑥ **特別な指示がある場合以外は、教科書、ノートなどのコピーは参照物として認められません。**
- ⑦ 携帯電話等を時計として使用することはできません。なお、受験の際は、携帯電話等の電源を必ず切るようにしてください。
- ⑧ 答案用紙に各自の学部・学科・学年・クラス・学生番号・氏名を必ず記入してください。無記名の答案は無効となります。
- ⑨ 原則として試験開始後15分までの遅刻者は試験の受験が認められますが、それ以上経過した遅刻の場合は受験できません。ただし、担当教員の許可がある場合はこの限りではありません。
- ⑩ 問題用紙及び解答用紙は使用・未使用に関わらず、試験場から持ち出すことは不正行為とみなされます。
- ⑪ 受験した者は、解答の有無にかかわらず氏名などを記入した答案用紙を提出しなければなりません。
- ⑫ 試験は厳正かつ公平に行われなければならない趣旨からも、**不正行為は絶対にしてはいけません。不正行為と認められる行為があった場合、理由を問わず日本大学学則第76条・77条及び本学部で定めた内規等に基づき、懲戒（退学・停学・訓告の3種）を行います。**また、教授会で懲戒処分が決定次第、学内に当該学生の所属、学年、学生番号、氏名、処分理由・内容等を掲示するとともに、**学生本人及び保証人宛通知をすることとなります。**監督者が許可した以外のものは、使用の有無、出題内容との関連性の有無に関わらず、使用できる状態にある場合は不正行為とみなされます。
- ⑬ 定期試験において、病気その他やむをえない理由により受験できなかった場合は、当該科目の試験実施日から**7日以内**（ただし7日目が日曜・祝祭日にかかる場合は、その翌日が締切となります）にその事実を証明する書類を添えて所定の「試験欠席届」を必ず教務課に提出してください。(p.10参照)
- ⑭ 試験開始後、座席表が回されることがありますので、必要事項を必ず記入してください。記入しない場合は受験しなかったとみなされますので十分注意してください。

試験欠席届

定期試験を、病気その他やむをえない理由により欠席した者に対して、追試験を行う場合があります。この場合は、当該科目の試験実施当日から**7日以内**（ただし7日目が日曜・祝祭日にかかる場合は、その翌日が締切となります）にその事実を証明する書類を添付して「試験欠席届」を提出してください。なお、この手続きをしない場合は、追試験を受験できません。

追試験の受験資格、「試験欠席届」に添付する書類は次のとおりです。

不受験理由	必要な証明書及び届出の内容
本人の病気・けが	医師の診断書 (病名・受診日及び安静等の期間, 病院名が確認できるもの) ※ 病院・薬局のレシート(領収書含む)は不可
不慮の事故・災害	公的な証明書(例: 交通事故証明)
忌引き	会葬御礼等(葬儀の日時が確認できるもの) ※三親等内の血族または姻族
交通機関の遅延	当該交通機関で発行された遅延証明書
就職採用試験	採用最終試験に限る。(就職活動全般を許可するものではない) ※採用試験を受験した証明書(4年生のみ対象)
その他の理由	受験できなかった理由を証明する文書または証明可能な書類 (但し大学が認めた場合) ※第三者の証明書の取得が絶対必要条件

- 1 病気・けがで試験を欠席した場合は、必ず病院で診察を受けてください。
- 2 試験時間の勘違い(授業時間と定期試験時間との勘違い), 掲示の見落とし, 寝坊, サークル活動, アルバイト, 旅行, 個人的な都合等の理由により試験を欠席した場合は、追試験の対象となりませんので注意してください。

手続方法

- ① 「試験欠席届」を教務課で受け取る。
- ② 必要事項を記入し、クラス担任に認印をもらう。※3枚複写3枚とも
(クラス担任から認印がもらえない場合は学科主任からもらう)
- ③ 教務課に必要な証明書を添付して提出する。(証明書がない場合は受理できません)

仮学生証（試験受験用）

定期試験、追試験を受験するときは、必ず学生証を机の上に提示しなければなりません。試験期間中に学生証を忘れた場合は、本館1階又は三島駅北口校舎1階にある証明書自動発行機で仮学生証を発行してください。手続き方法は、次のとおりです。

- ① 本館1階又は三島駅北口校舎1階にある証明書自動発行機で学生番号とUNIPAのパスワードを入力して仮学生証を発行してください。
- ② 発行手数料300円が必要です。
- ③ 仮学生証の有効期間は発行日のみです。

仮 学 生 証 (試験受験用)

(フリガナ) 氏 名			
学 科			
学 生 番 号			
学 年	ク ラ ス	番	
住 所			
連 絡 先			

※下記に受験科目情報を記入すること。

時 限	受 験 科 目	担 当 教 員

写真貼付欄

本仮学生証は、
発行日当日限り有効とする。

発行日：平成 年 月 日

発 行 印

■仮学生証申請上の注意

仮学生証の発行には、5分程度時間がかかります。

試験時間直前にこの手続きをしますと、遅刻扱いになり試験を受験できなくなる可能性があります。

学生証を忘れた場合は、試験を受験する上でたいへん不利になりますので、十分注意してください。

※学生証再発行

学生証を紛失したときは、手数料1,000円（証紙）を添えて、教務課に再発行を申請してください。

レポ
ー
ト

① 担当教員に提出する場合

表紙は所定の「レポート用表紙」を参考に各自で作成し、その表紙をホチキスで止めて担当教員に直接提出してください。

② 教務課・国際研究室等に提出する場合

教務課・講師室及び国際研究室に用意してある所定の「レポート用表紙」の各欄を各自記入し、その表紙をホチキスで止めて担当教員の指示する場所に提出してください。レポートは指定された場所以外では受け付けできません。提出場所は担当教員に必ず確認してください。

③ 提出期限

提出締切日及び時間は講座により異なるので必ず担当教員に確認して指示どおりに提出してください。提出先の事務取り扱い時間以外のレポート提出は一切受け付けません。

レポート	
科目名	
担当教員名	
開講曜日	曜日 時限
課題	
提出日・時間	平成 年 月 日() 時 分
提出場所	研究室・教務課・()
学部・学科	国際関係学部 学科
学年・クラス	年 クラス
学生番号
フリガナ 氏名
受 付 印	

■レポート提出上の注意

- ・レポートの提出については、各担当教員の指示に従ってください。
- ・指定された期日、時間は厳守してください。
- ・担当教員の指示以外の方法で提出してもレポートは受理されません。

〈参考〉

教務課・講師室・国際研究室の 事務取り扱い時間	
月～金	9:00～17:00
土	9:00～13:00

成績と単位

履修科目の成績評価と単位の認定については、次のとおりです。

- ① 正しく履修登録された科目が成績評価の対象となります。ただし、欠席が非常に多いなど実質的な受講生と見なされない理由がある場合は、成績評価の対象なりません。
- ② 講義科目については、出席回数が授業時間数の3分の2に満たない場合は、原則として単位は付与されません。演習・実技・実習・会話科目については、出席回数が授業時間数の3分の2に満たない場合、又はシラバスに記載されている出席回数を上回らない場合は、原則として単位は付与されません。
- ③ 講義科目の単位は定期試験成績と平常成績により、また実技・実習・演習・会話科目の単位は平常成績により、それぞれ総合的に成績が評価されます。
- ④ 試験は次の3つに区分されます。

種類	区分	実施時期
平常試験	授業中に行う試験	随時
定期試験	学期末に行う試験	2回（7・8月，1・2月）
追試験	やむをえない理由により定期試験を受験できなかった者が、所定の手続きをした場合に行う試験	2回（定期試験の指定日）

- ⑤ 成績は、次の項目により総合的に評価されます。（科目によって異なりますので、詳しくは「授業計画（シラバス）」を確認してください）
 - ・ 講義・演習・実技・実習などに対する学習意欲・学習態度
 - ・ 試験結果
 - ・ 受講態度
 - ・ 課外での学習活動
 - ・ レポート，課題学習，提出物，その他
- ⑥ 本学では成績評価にGPA (**Grade Point Average**)制度を採用しています。成績評価は、次の5段階で表示されます。

素点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点～0点	—	—
成績	S	A	B	C	D	E	N
係数	4	3	2	1	0	0	—

GPAは、修得した授業科目の単位数にグレードポイント（上記係数）を乗じ、その合計（ポイント数）を履修単位数の合計で除して算出したものです。（次ページ【GPA計算例】参照）成績「S」、「A」、「B」、「C」を合格とし、合格科目には所定の単位が付与されます。「D」は不合格とし、不合格科目の単位は付与されません。また、この他に「E」は履修登録をしたが、試験欠席または評価自体に値しないもの、「N」は編入学や、外国の大学に留学し、修得して認定された科目です。なお、成績証明書には「D」、「E」の表記はされません。

⑦ 成績評価の結果は、次のとおり通知します。

区 分	対 象	時 期	通知方法
7・8月前期末試験の結果	全員	9月上旬	郵送により通知
9月追試験の結果	追試験受験者	10月中旬	UNIPAで各自確認
1・2月学年末試験の結果	4年生	3月中旬	郵送により通知
学年の最終成績 (2月の追試験の結果を含む)	1～3年生	3月下旬	郵送により通知

※卒業決定者は3月中旬に学校掲示板にて発表されます。また郵送によっても通知します。

〈参考〉

【GPA計算式】

$$\frac{(4 \times S \text{評価の修得単位数計}) + (3 \times A \text{評価の修得単位数計}) + (2 \times B \text{評価の修得単位数計}) + (1 \times C \text{評価の修得単位数計})}{\text{総履修単位数 (評価D, 評価Eの単位数を含む)}}$$

【GPA計算例】

履修登録科目名 (単位数)	評価 (係数)	ポイント数 (単位数×係数)
国際関係論入門 (2単位)	A (3)	2 × 3 = 6
国際文化論入門 (2単位)	B (2)	2 × 2 = 4
スタディ・スキルズ (1単位)	A (3)	1 × 3 = 3
キャリアデザイン (2単位)	B (2)	2 × 2 = 4
日本近現代史 (2単位)	C (1)	2 × 1 = 2
世界近現代史 (2単位)	B (2)	2 × 2 = 4
情報処理 (2単位)	B (2)	2 × 2 = 4
哲学 (2単位)	S (4)	2 × 4 = 8
芸術 (2単位)	B (2)	2 × 2 = 4
法学 (2単位)	D (0)	2 × 0 = 0
政治学 (2単位)	E (0)	2 × 0 = 0
商学 (2単位)	B (2)	2 × 2 = 4
経営学 (2単位)	C (1)	2 × 1 = 2
英語Ⅰ (2単位)	A (3)	2 × 3 = 6
英語Ⅱ (2単位)	A (3)	2 × 3 = 6
英語Ⅲ (2単位)	S (4)	2 × 4 = 8
英語Ⅳ (2単位)	A (3)	2 × 3 = 6
スポーツ科学と健康 (2単位)	S (4)	2 × 4 = 8
スポーツ総合 (1単位)	A (3)	1 × 3 = 3

合計① (36単位)

⇒

② 82

GPA=②÷①

82÷36=2.28

※1 GPAは小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを有効とします。

※2 評価「N」はGPAに算入されません。

※3 評価「D」、「E」はGPAに算入されます。**ただし、その科目を再履修した場合のみ評価は上書きされ、以前の評価はGPAに算入されません。**

※4 卒業要件に参入されない科目はGPAに参入されません。

単 位 認 定

各種検定試験や課外講座により単位認定を申請することができます。希望者は申請期間内に手続きをしてください。①～④により認定された単位数は、一年間に履修できる最高単位数には含みません。

①外国語技能検査による単位認定

【認定基準等】

- ①以下の各言語の表に基づき、申請する級やスコア等に応じて対象科目から選択し申請できます。ただし、認定科目は、申請する学年で履修することができる科目のみを対象とします。
- ②一度認定を受け、改めて技能審査の同じ級（または同レベルのスコア等）を取得した場合、再度申請することはできません。
- ③修得済科目の申請は認めません。
- ④単位認定の申請については、該当する言語の番号の若い科目を申請してください。

【申請方法】

合格証、またはスコアシートを持参のうえ、教務課で申請してください。

【申請期間】

- ①前期授業開始日から2週間
- ②後期授業開始日から1週間
- ③1月の授業開始日から1週間（4年生のみ）

※学事日程の都合により上記申請期間を変更する場合があります。変更する場合には事前に掲示にてお知らせします。

英語

上限単位数		8単位	4単位
実用英語技能検定 (日本英語検定協会)		1級	準1級
TOEFL® (国際教育交換協議会)	ITP Level 1	580点以上	550点～579点
TOEIC® (国際ビジネスコミュニケーション協会)		870点以上	730点～869点
【対象科目】		英語Ⅰ～Ⅳ	英語Ⅰ～Ⅱ
評価		N	N

※TOEFL-iBT®については、ETS (Educational Testing Service) の換算表に基づきTOEFL-ITP®スコアに準じた単位数を認定する。

ドイツ語

上限単位数	14単位	10単位	6単位	2単位
ドイツ語技能検定試験	1級・準1級	2級	3級	4級
CEFR基準	C2, C1, B2	B1	A2	A1
【対象科目】	ドイツ語Ⅰ～Ⅶ	ドイツ語Ⅰ～Ⅵ	ドイツ語Ⅰ～Ⅳ	ドイツ語Ⅰ, Ⅱ
評価	N	N	N	N

フランス語

上限単位数	8単位	4単位	2単位
実用フランス語技能検定試験	1級	準1級	2級
CEFR基準	C1, C2	B2	B1
【対象科目】	フランス語Ⅰ～Ⅶ		
評価	N	N	N

スペイン語

上限単位数	8 単位	4 単位	2 単位
スペイン語技能検定試験	3 級	4 級	5 級
D.E.L.E (Diploma de Español como Lengua Extranjera)	B2	B1	A2
【対象科目】	スペイン語V, VI, VII, スペイン語コミュニケーション	スペイン語 Ⅲ, Ⅳ	スペイン語 Ⅰ, Ⅱ
評価	N	N	N

中国語

上限単位数	8 単位	4 単位	2 単位(入学時)
中国語検定試験	1 級～準 1 級	2 級	3 級
新HSK	6 級	5 級	4 級
BCT	5 級	4 級	3 級
【対象科目】	中国語Ⅰ～Ⅵ	中国語Ⅰ～Ⅳ	
評価	N	N	N

韓国語

上限単位数	8 単位	4 単位	2 単位
韓国語能力試験	4 級	3 級	2 級
ハングル能力検定試験	準 2 級	3 級	4 級
【対象科目】	韓国語Ⅰ～Ⅵ	韓国語Ⅰ～Ⅵ	韓国語Ⅰ～Ⅳ
評価	N	N	N

② 課外講座による単位認定

休暇期間中に行われる課外講座については、単位認定を行う場合があります。

〈課外講座〉

・ハワイ大学共催夏期英語集中講座 ・ハワイ大学春期英語集中講座

詳しくは、各課外講座の要項を確認してください。

③ 検定試験合格による単位認定について

以下の表に記載のある科目に限り、検定試験合格等の要件を満たせば単位認定を申請することができます。

【申請方法】

検定試験合格証を持参のうえ、教務課で申請してください。

【申請期間】

①前期授業開始日から2週間 ②後期授業開始日から1週間

※履修開始年次以上にならないと申請することはできません。

科目名	履修開始年次	要件	試験主催団体	評価
情報処理	1	日商P C検定試験(文書作成)3級合格及び 日商P C検定試験(データ活用)3級合格	日本商工会議所	N
簿記論	2	日商簿記検定試験3級以上合格	東京商工会議所	N
地球環境と持続可能な開発	2	環境社会検定試験(eco検定)合格	日本商工会議所	N

④ 既修得単位の認定について

入学前に国際関係学部または他大学等で修得した単位が認定される場合があります。

授業内容等により認定できるか審査しますので、すべての単位が認定されるとは限りません。

【申請方法】

成績証明書・シラバスを持参のうえ、教務課で申請してください。

【申請期間】

入学年度の4月15日まで

休学・復学・退学

休学

- ① 休学については、学則で次のとおり定められています。
- ① 病気その他やむをえない事由により、引き続き3か月以上出席することのできない者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で願い出て、その許可を得て休学することができる。ただし、休学期間は1年以内とし、なお、休学を要する者は、許可を受けて更に1年以内の休学ができる。(学則第25条)
 - ② 休学者は、学期の始めでなければ復学することができない。(学則第26条)
 - ③ 休学期間は、修業年数に算入しない。(学則第27条)
- ② 休学の手続き

休学願					
平成____年____月____日					
日本大学国際関係学部長 殿					
国際関係学部_____学科_____年_____クラス	[学生番号_____]				
	(平成_____年入学)				
本人氏名_____印					
保証人(父母)氏名_____印					
わたくしは、下記のとおり休学させていただきたいので、ご許可くださるよう保証人連署をもってお願いいたします。					
記					
1 休学期間	平成____年____月____日から 平成____年____月____日まで				
2 休学理由	_____				
3 連絡先 (〒 -)	_____				
	TEL _____				
	<table border="1"><tr><td>学科主任</td><td>担 任</td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>	学科主任	担 任		
学科主任	担 任				

■「休学願」提出上の注意

- ・「休学願」の用紙は、教務課で受け取ってください。
- ・「休学願」には、病気その他の事実を証明する書類(医師の診断書等)を添付してください。
- ・本人欄には、本人が署名・捺印し、保証人欄には、保証人が署名・捺印してください。**筆跡や印鑑が同じ場合は受理できません。**
- ・「休学願」は、本人がクラス担任と学科主任の認印を得て、教務課に提出してください。病気その他の理由により、本人がクラス担任と学科主任の認印を得られない場合は、事前に教務課に連絡してください。

③ 授業料について

- ① 「学費の取扱いに関する要項」に基づき、授業料その他所定の学費が、次のように減額されます。
 - (1) 5月31日までにその学年の休学を願い出た者は、当該年度の前学期分及び後学期分を徴収しない。
 - (2) 6月1日から11月30日までの間に、その学年の休学を願い出た者は、当該年度の後学期分を徴収しない。
 - (3) 5月31日までに前学期の休学を願い出た者は、当該年度の前学期分を徴収しない。
 - (4) 11月30日までに後学期の休学を願い出た者は、当該年度の後学期分を徴収しない。
- ② 学費を徴収されなかった者からは、徴収されない学期ごとに、休学在籍料として6万円を徴収する。
- ③ 授業料納入後に休学を許可された者の前項各号に該当する納入超過分については返還されます。ただし、上記の減額措置を受けた者が、休学期間中に退学等により学籍を失った場合、徴収した休学在籍料は返還されません。

復学

復学の手続き

休学者には、休学期間が満了する学期末に「復学願」を送付しますので、指示にしたがって所定の期日までに教務課に提出してください。

※休学中は、卒業日(3月25日)においても休学期間中のため復学することができません。よって休学中は卒業することができません。

退学

- ① 修業年限・退学・除籍・懲戒については、学則で次のとおり定められています。
- ① 修業年限は、最低4年とし、在学年数は、8年を超えることができない。(学則第21条第1項)
 - ② 病気その他やむをえない事由のため、退学しようとする者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で退学願を提出して、許可を受けなければならない。(学則第28条)
 - ③ 故なくして3か月以上学費の納付を怠った者は、これを除籍することができる。(学則第30条)
 - ④ 故なくして欠席が長期にわたる者は、これを除籍することができる。(学則第31条)
 - ⑤ 懲戒は、退学・停学及び訓告の3種とする。
- 前項の退学は次の各号の一に該当する者について行う。
1. 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 2. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 3. 正当の理由がなくて出席常でない者
 4. 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
(学則第77条)
- ② 次に該当する場合は、「退学願」の提出を促すことがあります。
- ① 故なくして3か月以上学費の納付を怠った者
 - ② 在学年数が7年を超えても卒業の見込みがない者
 - ③ 学力劣等で成業の見込みがないと見込まれる者
- ③ 退学の手続き

退学願

平成.....年.....月.....日

日本大学国際関係学部長殿

国際関係学部.....学科.....年.....クラス
平成.....年度入学 [学生番号.....]

本人氏名.....印.....
保証人(父母)氏名.....印.....

わたくしは、下記のとおり退学させていただきたいので、ご許可くださるよう保証人連署をもってお願いいたします。

記

1 退学期日 平成.....年.....月.....日

2 退学理由 ※該当する項目にレ印をつけてください(複数回答可)

勉学意欲喪失 経済的理由 他校入学(学校名.....)

学生生活継続困難 家庭の事情 本人の健康上の理由

不本意入学 就職 その他

理由詳細
.....
.....

3 連絡先(〒..... -)
住所.....
電話.....

担任所見
.....
.....

学科主任	担任

■「退学願」提出上の注意

- ・「退学願」の用紙は、教務課で受け取ってください。
- ・「理由詳細」欄には、「退学理由」で✓印をつけた事項について、そこに至った経緯等を可能な限り詳細に記入してください。
- ・「退学願」には**病気その他の事実を証明する書類(医師の診断書等)を添付してください。**
- ・本人欄には、本人が署名・捺印し、保証人欄には、保証人が署名・捺印してください。**筆跡や印鑑が同じ場合は受理できません。**
- ・「退学願」は、本人がクラス担任と学科主任の認印を得て、学生証と一緒に教務課に提出してください。病気その他の理由により、本人がクラス担任と学科主任の認印を得られない場合は、事前に教務課に連絡してください。
- ・退学の期日により、学費の取り扱いが異なりますので、事前に教務課に問い合わせてください。

各種証明書

種 類	手数料	取 扱	発 行 日	所 管
卒業（修了）見込証明書	100円	証明書自動発行機	即日	教務課
成 績 証 明 書	200円			
単 位 修 得 見 込 証 明 書	200円			
在 学 証 明 書	100円			
仮学生証（試験受験用）	300円			学生課
健 康 診 断 証 明 書	100円			
学 割 証	無料			
卒 業 証 明 書	200円	教務課	即日	教務課
退 学 証 明 書	200円		申し込み日の翌日	
学 生 証 再 発 行	1,000円		申し込み日から 約1週間	
学力に関する証明書	100円			
英文証明書（1枚目） 同（2枚目以降）	600円 200円			
英文健康診断証明書	600円	学生課	即日	学生課
通 学 証 明 書	無料	就職指導課	申し込み日の翌日	就職指導課
推 薦 書	無料			

(2015年4月現在)

■証明書自動発行機

- ① 設置場所 本館1階，三島駅北口校舎1階
- ② 取扱証明書 卒業（修了）見込証明書・成績証明書・単位修得見込証明書・在学証明書・健康診断証明書・学割証
- ③ 利用時間 9：00～17：00（月～金）
9：00～13：00（土）
※日・祝日・創立記念日(10月4日)及び3月31日・4月1日は利用できません。
※春季・夏季・冬季休暇期間については取扱い時間を変更する場合があります。
※その他業務上の都合により，使用できない場合があります。
- ④ 学生証及び暗証番号
証明書自動発行機を利用するには，学生証が必要です。また，パスワードを入力する必要があります。パスワードはUNIPAと同様です。

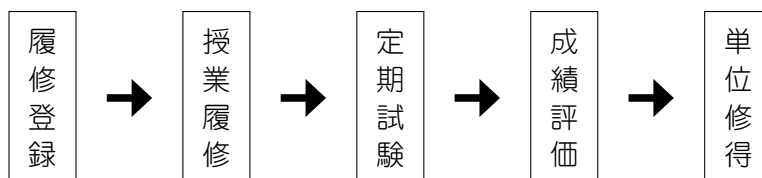
■卒業後の証明書の申込み方法

卒業証書、成績証明書は教務課窓口で発行します。郵送で申込む場合には，必要事項の記入等，所定の手続に従い申込んでください。詳細は日本大学国際関係学部ホームページにて確認してください。

Ⅲ 履 修 登 録

履修の手順と授業の形態

履修から単位修得までの流れ



科目の種別

授業科目は履修方法の違いによって次の種類に大別されます。

必修科目	卒業までに必ず修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修できる科目

どの年次に、どの学期に、どの科目を、どれだけ履修するかは、基本的には各自の自主的な判断に基づいて決定するものです。選択科目では、学習に対する興味や関心のある分野を学ぶことが大切でしょう。また、所属する学科の学習指針などに応じて、その目的が充分活かされるように選択することも大切です。履修は、卒業するまでに卒業要件を満たすことを最低条件としますが、各年次ごとに適切な科目、科目数及び単位数を履修できるよう考えなければなりません。

国際関係学部における各科目の設置年次及び時間割は、いろいろな科目を履修できるよう充分配慮されています。しかし、クラス編成、利用施設などの制限や時間割の編成上、複数の科目が同一時限に集まることがあり、全ての学生の要望を満たせないことがあります。また開講科目も前・後期ともに開講される科目と、いずれかの学期にしか開講されない科目があります。特に上位学年になって下位学年対象の科目を再履修しようとする、色々な問題が発生しますので充分注意してください。

また、各学年の年間履修登録単位数の上限が40単位（4年次は48単位）に定められています。履修登録が最終的に確定した科目については確実に単位を修得できるように励みましょう。不合格科目が多くなると、低学年次の時点で、4年間での卒業ができなくなる可能性があります。

余裕を持って単位を修得していけるよう、本要覧や「授業計画（シラバス）」、「時間割」等を参考にして、適切な履修計画を立ててください。

授業の開講期

本学部では、1学年を二分し、前期、後期とする Semester 制を展開しています。原則として、すべての講義科目は1 Semester（1学期）で完結します。ただし、演習科目及び実習科目またその他授業の性質上、前期、後期を通して通年で実施される科目もあります。

履修科目の登録

履修登録は、本年度の受講科目を決定する大切な手続きです。

履修科目の登録は、各自の責任のもとで、原則として年度の始めに（セメスター制で後期に開講される科目も含む）行うものです。UNIPAで公開している時間割表に記載されている科目の中から履修要件に照らして履修科目を選び、履修登録の期間を確認の上、所定の期日までに受講届を提出し、UNIPAで履修登録を行ってください。受講・履修手続きに関して不明な点がある場合は、担任教員、教務課、国際研究室に相談してください。

受講届の提出

- ① 教務課・国際研究室に置いてある「受講届」に必要事項を記入し、受講希望科目の担当教員の指示に従い、初回授業時に直接提出してください。**なお、科目によっては初回授業で受講者数制限を行い、「受講届」が受理されない場合があります。**
- ② 履修登録とともに「受講届」の提出を行わないと、当該科目の受講と単位の修得が認められない場合があるので、充分注意してください。

履修登録の注意点

履修登録期間内に、インターネットを使用し、担任教員に相談しながらUNIPAで履修登録を行ってください。その際、印刷して必ず自身の控えも取っておくようにしてください。

※履修登録内容については、自己責任となりますので、必ず登録内容を自分自身で再度、確認してください。

〈確認事項〉

- ① 科目名・科目担当教員等を必ず確認してください。
- ② 登録科目に誤りが無いが、前期履修登録期間に必ず確認し、誤りがあった場合には、前期履修登録科目の削除・追加期間内にUNIPAで訂正し、再度確認してください。
- ③ **履修科目の登録漏れや誤った科目を登録した場合、たとえ授業に出席しても、単位の修得は認められません。**

以下の科目は、指定された期日のガイダンスに出席し、所定の手続きを行ってください。ガイダンスの日程等は掲示にてお知らせいたします。（相互履修科目・単位互換科目のガイダンスはありませんので、初回授業に必ず出席してください）

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ・国際交流（インターンシップ） p.44 | ・国際交流（外国語実習） p.45 |
| ・他学部との相互履修科目 p.46 | ・短期大学部（三島）との単位互換科目 p.47 |
| ・その他特別講座 | |

履修登録の削除・追加

9月の後期履修登録科目の削除・追加期間内で行われる履修登録科目の削除・追加は、GPA制度導入による救済措置です。GPA値の低下を回避するために削除を許可するもので、追加を容認するものではありません。

学生は4月に1年間の履修計画（時間割）を立てて、必要に応じて担任教員に相談しながら履修登録期間にUNIPAで登録し、自分の履修登録科目を確認して履修登録完了することが原則です。

ただし、受講者数制限等でやむをえず登録科目を変更する場合、前期の場合は履修登録の削除・追加期間内に各自がUNIPAで変更作業を行います。後期の場合は、後期履修登録科目の削除・追加期間に各自UNIPAからダウンロードした「学生時間割表」を朱書き訂正の上、担任教員の研究室に出向き確認を受けてください。その後、「学生時間割表」をもとに、UNIPAで後期履修登録変更作業を各自行ってください。また、同期間内に再度登録内容の確認を行ってください。なお、科目を追加する場合、それまでの欠席分は配慮されませんので、注意が必要です。履修登録科目の削除・追加できない事例はp.24を参照してください。

- ※1 履修登録科目の削除・追加できない事例に該当しない場合でも、「削除・追加」の期間を過ぎた場合は変更できなくなりますので、必ず自分の目で確認してください。
- ※2 例年、担任教員の研究室のポストへ勝手に投函する学生がいます。この場合は確認を受けたことになりませんので、必ず面会して担任教員より確認を受けるようにしてください。

●担任・オフィスアワーについて

担任は、皆さんの履修登録や卒業までのステップなど、学習についての相談、指導、助言を行います。各担任はオフィスアワーの時間に研究室に在室しているので、相談がある場合は訪ねてください。オフィスアワーの時間帯は、各担任の研究室前に掲示しています。

履修単位の制限

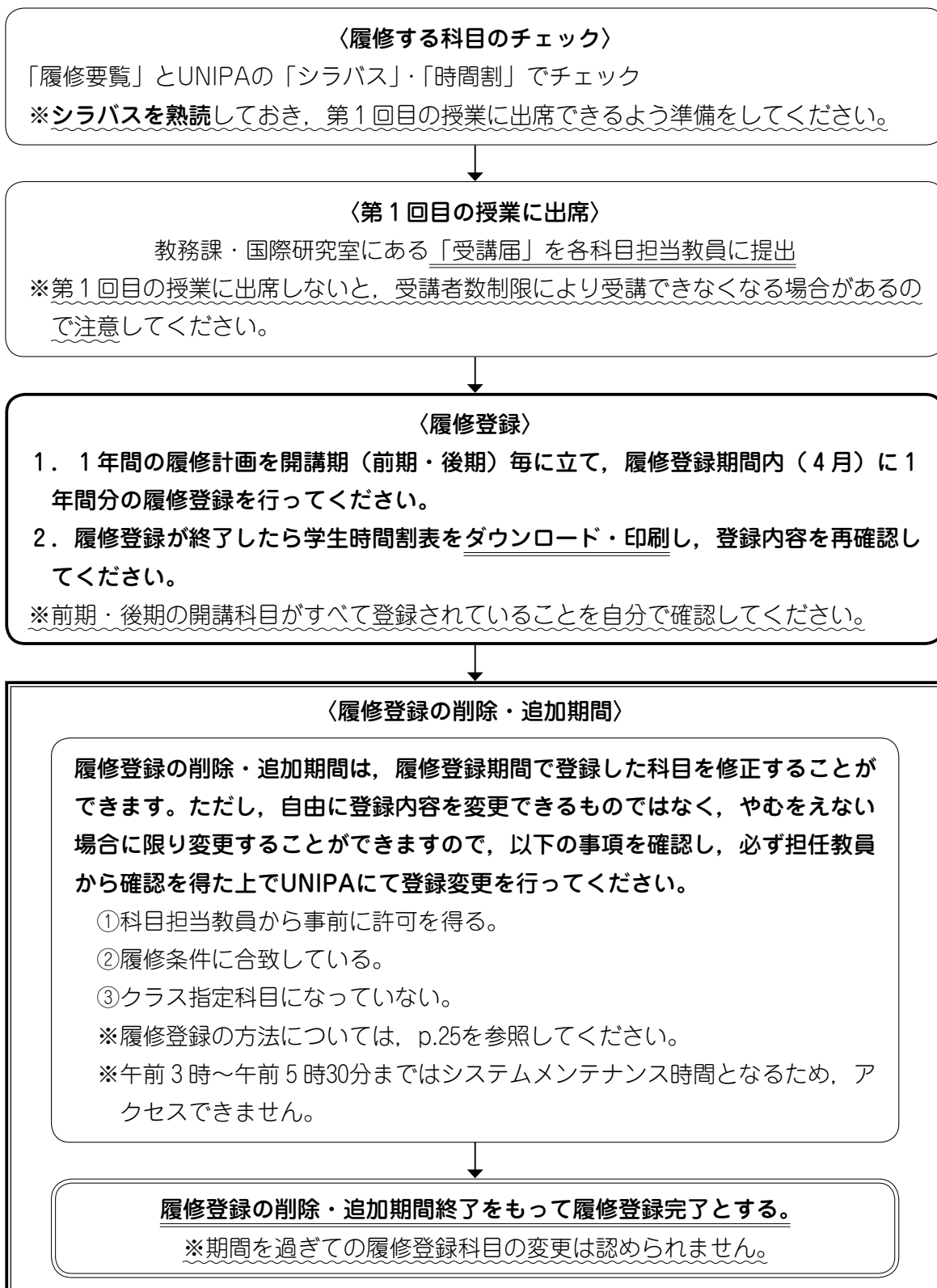
1年間で履修登録できる単位数は、最高**40単位**（1年次～3年次）となります。
ただし、4年次のみ最高履修単位は、**48単位**となります。

「相互履修科目」、「遠隔授業科目」は最高履修単位数に含まれます。また、教職課程科目（卒業単位数に算入できない科目）は最高履修単位数に含まれません。

履修登録の流れ

※期間を過ぎての履修登録科目の変更は認められないので、慎重に確認してください。

【前期】



後期履修登録科目の削除・追加は、受講者数制限等により受講が出来なくなり、GPA値が下がることを防ぐための救済措置です。登録科目を自由に変更することはできません。

【後期】

〈後期授業開始〉

第1回目の授業に出席し「受講届」を各科目担当教員に提出
※第1回目の授業に出席しないと、受講者数制限により受講できなくなる場合があるので注意してください。

〈後期履修登録科目の削除・追加〉

登録科目を自由に変更するための期間ではありません。以下は認められないので注意してください。

- ①年間最高履修単位数を超えた登録科目の追加（1～3年40単位、4年48単位）
- ②通年科目の削除・追加
- ③必修科目（履修要覧上で○の付いた科目）・クラス指定科目・外国語科目・専門外国語（特定言語を含む）・通年科目（後期のみ）の削除・追加
- ④修得済み科目の追加
- ⑤相互履修科目・単位互換科目の削除・追加
- ⑥卒業論文の削除・追加
- ⑦その他指定した科目の削除及び追加

〈後期履修登録科目の削除・追加の手続き〉

登録科目を変更したい

削除・追加希望科目を選定する。

UNIPAから学生時間割表をダウンロード・印刷し、削除・追加する科目を朱書き訂正する。その後、担任教員に確認してもらう。

各自UNIPAにて科目の削除・追加の手続きを行う。**登録期間厳守**

特に変更する必要ない

手続きは必要ないので、そのまま登録した科目の授業に出席する。

登録後、削除・追加の期間内に学生時間割表を印刷して登録内容を各自で確認してください。

学生は、UNIPAで登録科目を確認後、問題があれば直ちに教務課に申し出てください。

履修登録方法

1. UNIVERSAL PASSPORTとは

「UNIVERSAL PASSPORT（以下UNIPA）」とは、休講情報等を確認したり、履修登録や成績確認等を行うことができるシステムです。

「これからの学生生活で、どのような科目を履修するのか？」から始まり、「どのようなキャンパスライフを送るのか？」キャンパスライフ全体を通じて活用していただけます。

2. UNIPA使用時の注意

UNIPAでの履修登録は必ずパソコンで行ってください。推奨ブラウザはUNIPAトップページに表示されています。スマートフォン、タブレットでの登録は推奨していません。

※利用するにあたっては、以下のことに注意してください。

〈使用上の注意〉

- 情報処理教室および情報処理自習室に設置されている公共パソコンを使用する場合は、指導員の指示に従ってください。もし、操作方法が分からなくなった場合は、必ず指導員に相談してください。
- 必ず登録期間内に履修登録を完了させてください。また、各学年の履修登録最終日は混雑が予想されるため、できる限り早めに登録をしてください。
- 公共パソコンは長時間占有しないでください。
- 公共パソコンの設定を無断で変更しないでください。
- パスワードは、他人に教えないでください。パスワードを忘れた場合は、本人が15号館3階情報教育センターに学生証を持参し、パスワード参照を申し出てください。
※パスワードの発行には時間がかかる場合があります。

〈操作上の注意〉

- 公共パソコンに勝手にアプリケーションをインストールしたり、ダウンロードしたりしないでください。
- ブラウザの「戻る」「進む」ボタンは使用しないでください。誤作動の原因になります。「UNIPA」の「戻る」ボタンでページ移動をしてください。
- 「UNIPA」が表示されない等のトラブルが発生した場合は、情報教育センター（15号館3階）に問い合わせてください。
- 一定時間操作を行わないとタイムアウトになり、最初から作業をやり直すこととなりますので、注意してください。

3. 事前準備

UNIPAで履修登録する前に必ず以下の準備を行ってください。

- ①ユーザID、パスワードの確認をしましょう。もし忘れてしまった場合は、情報教育センター（15号館3階）で学生証を提示し、パスワード参照を申し出てください。
- ②履修登録する前に受講希望の授業を事前にシラバス等で参照し、各自UNIPAからダウンロードした時間割表に受講希望科目を記入して時間割表を完成させてから担任教員に履修内容を確認したうえで、UNIPAで登録してください。なお、この時に履修登録する単位数の合計が年間最高履修単位を超えていないか確認してください。

※シラバス（授業計画）はUNIPAで閲覧できます。

- ③履修要覧（本書）を用意します。準備ができれば、早速履修登録をはじめましょう。

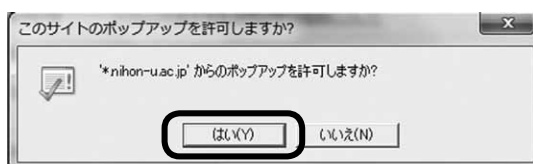
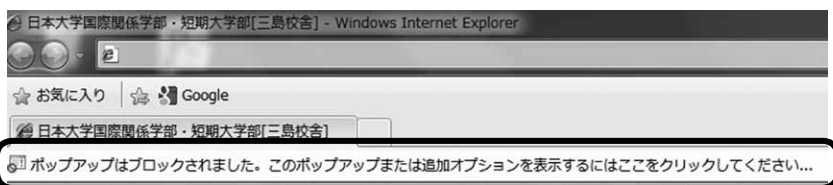
時限	曜日	月			火			水			木			金			土		
		科目名	単位数	担当教員	科目名	単位数	担当教員	科目名	単位数	担当教員	科目名	単位数	担当教員	科目名	単位数	担当教員	科目名	単位数	担当教員
1	通年／前期																		
	後期																		
2	通年／前期																		
	後期																		
3	通年／前期																		
	後期																		
4	通年／前期																		
	後期																		
5	通年／前期																		
	後期																		
6	通年／前期																		
	後期																		

4. 履修登録を行う

4-1 UNIVERSAL PASSPORTにアクセスする

① 日本大学国際関係学部のホームページにアクセスする。 <http://www.ir.nihon-u.ac.jp>

※ポップアップブロックの画面が表示された場合は、下図のメッセージ部分をクリックし、
[このサイトのポップアップブロックを常に許可 (A)] を選択してください。



「はい (Y)」をクリック

② UNIVERSAL PASSPORTをクリックする。

The screenshot shows the homepage of the Nihon University College of International Relations / Nihon University Junior College. The navigation bar includes links for 'お問い合わせ', 'サイトマップ', '交通アクセス', and '日本大学Home'. The main content area features a large banner with photos of students and a building, with sections for '学部紹介', 'イチオシ!', and 'Blog'. The left sidebar contains a '学生・教職員専用' section with a red box around the 'UNIVERSAL PASSPORT' link. The main content area has a 'ニュース' section with a red box around the 'eラーニング【入学前教育】' link. The right sidebar has an 'イベントレポート' section with a red box around the 'イリノイ州立大学から足立伸子准教授が...' link.

③ 「User ID」と「PassWord」を入力してください。



ログイン

User ID

PassWord

シラバス

日本大学国際関係学部 UNIPA EX

■ 次回のUNIPA EX サービス停止のご案内 ■

全館停電に伴い、平成26年12月20日(土)13時00分～22日(月)9時00分の期間中はUNIPAの使用ができなくなりますので、御注意ください。

※携帯アドレスを登録していない学生は必ず登録すること※
(登録がない場合には、大学からの緊急受信メール等の重要なメールが届かなくなります。)

ir.nihon-u.ac.jpから、メールを受信できるように各自設定してください!!!

【注意】

パスワードを忘れてしまった場合は、情報教育センター（15号館3階）にて学生証を提示し、パスワード参照を申し出てください。

4-2 履修登録画面を開く

① メインメニューの「履修登録」をクリックします。

※履修登録期間を過ぎると履修登録のメニューをクリックしても機能しません。

The screenshot shows the top of the Universal Passport website. The header includes the logo of Nippon University (日本大学) and the text 'UNIVERSAL PASSPORT' with the user's name '日大 太郎 さん' and login time '2015/01/27 18:04'. Below the header is a navigation menu with tabs for '個人情報', '資格希望', '履修登録', '時間割', '成績関連', 'アンケート', and 'シラバス'. The '履修登録' tab is highlighted with a red box. Below the navigation menu is a 'ポータル' section with a calendar for April 2015 and a '休講・補講・教室変更' section.

② 「次へ」をクリックし、学籍情報変更申請、アンケート回答をして、履修登録へ進みます。

The screenshot shows the '履修登録' (Course Registration) page on the Universal Passport EX website. The page has a navigation menu with tabs for '個人情報', '資格希望', '履修登録', and '時間割'. The '履修登録' tab is selected. Below the navigation menu is a breadcrumb trail: '1.説明画面 > 2.学籍情報変更申請 > 3.アンケート回答 > 4.履修登録'. The '次へ' (Next) button is highlighted with a red box. Below the breadcrumb trail is a summary section with the text: '[概要] 履修授業の登録、履修チェック(基本チェック、制限チェック、条件チェック)を行います。'

- 1.説明画面 説明
- 2.学籍情報変更申請 学籍情報の変更申請を行います。
- 3.アンケート回答 アンケートの回答を行います。集計結果を確認することができます。集計結果はグラフ表示されます。
- 4.履修登録 履修授業の登録、履修チェック(基本チェック、制限チェック、条件チェック)を行います。

4-3 履修登録を行う

各曜日、時限ごとに「選択」ボタンをクリックすると、履修可能な科目が表示されます。

■ 履修登録

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 最終確認 ▶ 4 完了

▶ 履修する授業を選択してください。◀

履修合計単位 0 [チェック]

■ 2015年度 前期 | 後期へ 前期単位 0

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]
2	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]
3	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]
	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]	[選択]

4-4 履修科目を選択する

履修したい科目を選択します。

【例】月曜日 2 時限目の履修登録をする場合

月曜日 2 時限目の「選択」をクリックして、

520339 英語Ⅳ【K. トマリ】 にチェックをつけて「確定」をクリックすると

■ 授業の追加 [閉じる]

2015年度 前期 月2

チェックをつける →

授業コード	科目名	単位
<input type="checkbox"/> 510305	心理学【白川 真裕】	2
<input type="checkbox"/> 511403	商学【雨宮 史卓】	2
<input checked="" type="checkbox"/> 520339	英語ⅣE20【K. トマリ】 [復回]	2

[確定]

表示内容項目の見方（例）

520339	英語Ⅳ	【K. トマリ】	複回	2 単位
授業コード	科目名	担当教員名	※「セメスター科目」を意味する表示	単位数

※「セメスター科目」とは、同一授業コードで週 2 回開講される科目です。

下図のように時間割表に反映されます。

■ 2015年度 前期 前期単位 3

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
1	選択	選択	選択	選択
2	選択 削除 □ 520339 英語ⅣE20【K.トマリ】1553 2単位 撤回	選択	選択	選択 削除 □ 520339 英語ⅣE20【K.トマリ】1553 撤回
		選択	選択	選択

履修登録は、前期と後期で分けて登録作業を行います。通年科目を登録する場合は前期で登録になりますので注意してください。

※授業時間割表の検索

メインメニューの「時間割」→「授業時間割表」で全時間割を検索することができます。



【注意点】

- ① 画面に表示されている授業が、すべて履修できるわけではありませんので、「履修可能年次」等カリキュラム内容を十分に確認した上で選択してください。
- ② クラス名は表示されません。授業コード及び教員名を確認し選択してください。
- ③ 前期と後期に分けて登録を行ってください。通年科目を登録する場合は前期で登録をしてください。通年で登録した曜日時限に後期科目を登録するとエラーになります。
- ④ 同一授業コードで週2回開講されているセメスター授業については、必ず両方の時間帯を選択してください。
- ⑤ 履修登録中は、アクセス状況により画面表示の応答時間が遅くなる場合があります。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。また「確定」ボタンの連打はエラーを引き起こす恐れがあるため絶対に行わないでください。

4-5 卒業論文・集中講義・実習科目の登録方法

登録画面を下にスクロールすると「集中講義」「実習」の選択枠があります。

5	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 選択
6			<input type="checkbox"/> 選択		
集中講義			実習		
<input type="checkbox"/> 選択					

集中講義の「選択」をクリックすると、下図のような受講可能な科目が表示されます。チェックマークを入れて「確定」ボタンをクリックすると、時間割表に反映されます。

■ 授業の追加

2015年度 後期 集中講義

<input type="checkbox"/>	授業コード	科目名	単位
<input type="checkbox"/>	560101	国際交流(外国語実習)【国際主催 ストニーブルック大学】【杉本 宏昭】	2
<input type="checkbox"/>	560102	国際交流(外国語実習)【国際主催 TIEC】【東馬 宏和】	2
<input type="checkbox"/>	560103	国際交流(外国語実習)【短大主催 ハワイ大学】【室伏 誠】	2
<input type="checkbox"/>	560104	国際交流(外国語実習)【国際主催 WITT】【上田 龍太郎】	2
<input type="checkbox"/>	560105	国際交流(外国語実習)【国際主催 北京大学国際関係学院】【井上 桂子】	2
<input type="checkbox"/>	560106	国際交流(外国語実習)【国際主催 フライブルグ大学】【眞道 杉】	2
<input type="checkbox"/>	560107	国際交流(外国語実習)【国際主催 アンジュカレッジ】【橋本 由紀子】	2
<input type="checkbox"/>	560108	国際交流(外国語実習)【本部主催 ヘンリックカレッジ】【未設定】	2
<input type="checkbox"/>	560109	国際交流(外国語実習)【本部主催 エリザベツカレッジ】【未設定】	2
<input type="checkbox"/>	560110	国際交流(外国語実習)【本部主催 ホント大学附属英語研修機関】【未設定】	2
<input type="checkbox"/>	560111	国際交流(外国語実習)【国際主催 トロント大学】【熊木 秀行】	2
<input type="checkbox"/>	560112	国際交流(外国語実習)【国際主催 ヌルハースト大学】【杉本 宏昭】	2

以下の科目の受講希望者は4月の履修登録期間内に必ず履修登録を行ってください。なお、「集中講義」、「実習」のそれぞれの枠内で複数授業を選択することは可能ですが、科目によっては開講曜日・時間が重複している場合がありますので、登録前には必ず日程を確認してください。

教育実習 I	履修登録が完了されないまま教育実習を実施した場合、成績評価がされず教育職員免許状の取得ができなくなります。
卒業論文	履修登録が完了されなければ、卒業論文は受理されません。
国際交流（外国語実習）	履修登録が完了されなければ海外研修を行っても成績評価の対象外となります。なお、海外研修前にキャンセルした場合、後期授業開始時に本科目を削除し、他の科目を追加登録することができます。

4-6 履修登録授業を確定する

履修する授業をすべて選択したら、前期時間割表の右上にある「チェック」をクリックします。「チェックを開始してよろしいですか」とメッセージが表示されたら「OK」をクリックして登録内容を確認します。

履修登録

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 最終確認 ▶ 4 完了
 ▶ 履修する授業を選択してください。◀

履修合計単位 22 ▶ チェック

2015年度 前期 | 後期へ 前期単位 3

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	選択	選択	選択	選択	選択	選択
2	選択	選択	選択 削除 203305 英語VI【今岡 奈津子】1317B LL 2単位	選択	選択	選択



エラーがなければ、下図のように「エラーはありません」と表示されますので、「確定」ボタンをクリックします。「確定してよろしいですか」とメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

履修登録 履修授業の登録、履修チェック(基本チェック、制限チェック、条件チェック)を行います。
前へ 1.説明画面 ▶ 2.学籍情報変更申請 ▶ 3.アンケート回答 ▶ **4.履修登録**

履修登録 授業の選択へ戻る

1 授業の選択 ▶ 2 エラー確認 ▶ 3 最終確認 ▶ 4 完了
 ▶ エラーはありません。◀

履修合計単位 3 ▶ 確定

2015年度 後期 後期単位 3

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

下図のように前期と後期の時間割表が作成されました。「印刷実行」ボタンをクリックすると印刷ができます。印刷した学生時間割表は、その学年が終了するまで、大切に保管してください。

学生時間割表 取消

2015/04/07(火) 17:37

2015年度 通年

学年: 1年 カリキュラム学科組織: 日本大学国際関係学部 国際総合政策学科 英語 正規生

123456 日大 太郎 印刷実行

2015年度 前期

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	521001 フランソワ講座 (F 1)【録本 自由子】1336 2単位	511203 602号 【志川 直 大】1523 2単位		521001 フランソワ講座 (F 1)【録本 自由子】1336		
2				510203 遊楽号 【鈴木 哲】N508減算並 2単位		
3			500201 国際文化入門 (60 A)【西田 勇】1523 2単位		501201 情報処理 (60情報 1)【録本 眞野】N509情報 2 単位	
4		501101 世界経済史 (60 A)【小池 有希子】1523 2単 位	530001 スポーツ科学と健 康 (60協A)【今野 幸】1523 2 単位			
5		500601 キャリアデザイン (6 1)【大西 善士大】1336 2単位				
6						
7						

時間割表を閉じると、下図のように「履修登録が完了しました」と表示されます。



以上で、履修登録は完了です。学生時間割表はいつでも参照したり、印刷することができます。

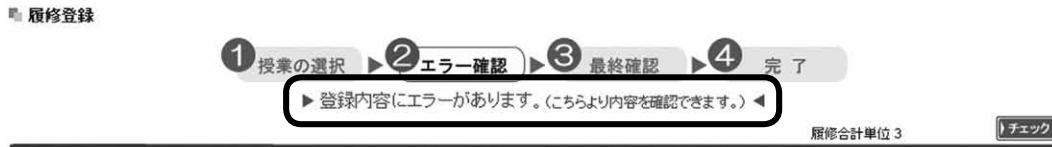
メインページの「時間割」→「学生時間割表」で参照できます。



個人情報	資格希望	履修登録	時間割	ホーム メール設 アンケート
------	------	------	------------	---------------------

登録完了後は、必ずログアウトし、利用したブラウザを終了させてください。ブラウザを開いたまま席を離れると、他人に情報を改ざんされる恐れがあります。

※エラーが表示される場合



「登録内容にエラーがあります。(こちらより内容を確認できます。)」をクリックします。
下図のようにエラー内容が表示されますので、確認して修正してください。

授業コード	開講学期	開講曜日	科目名	単位	メッセージ
200803	2014年度 後期	月1 火1	世界地誌【加藤 雅功】	4	前期・通年科目は履修できません。
240101	2014年度 後期	火3	学際研究Ⅱ【小林 寛道】	2	前期・通年科目は履修できません。
218104	2014年度 後期	水3 土1	国際関係論Ⅱ【永井 雄一郎】	2	前期・通年科目は履修できません。

【注意点】

- ①履修登録期間中、教務課では別システムにて再度詳細な「履修チェック」を実行します。そのため履修エラーが発生することがありますので、必ず履修登録期間内に「履修登録」画面にてエラーが出ていないかを確認してください。
また、エラーの内容により、掲示にて呼び出しを行なうことがありますので注意してください。
- ②履修登録時や登録内容を修正する際には、必ず「履修登録が完了しました。」と表示されるまで操作してください。

最後にもう一度確認!!

- ①前期科目と後期科目それぞれ登録していますか？（特に、後期科目を忘れていませんか？）
- ②通年科目は登録されていますか？
- ③週に2度あるセメスター科目はきちんと登録されていますか？
- ④クラス指定されている科目について、間違いなく登録していますか？
- ⑤集中講義（卒業論文、教育実習Ⅰなど）は、きちんと登録されていますか？
- ⑥登録した合計単位数が年間最高履修登録単位数を超えていませんか？
- ⑦自分の時間割をきちんと把握できますか？（確定した時間割表は、各自印刷して保管してください）

Ⅳ 卒業の要件

卒業に必要な単位

国際関係学部にて4年間以上在学し、規定の履修要件をすべて満たし、124単位以上を修得した者に卒業資格が与えられ、学士（国際関係）の学位が授与されます。

卒業に必要な単位数と履修要件に関する規定は厳格に適用され、1単位の不足があっても卒業できません。また、124単位以上の単位を修得しても、履修要件を満たしていなければ卒業できません。

	国際総合政策学科	国際教養学科	各必修単位数	自由選択	合計
	基礎科目		13		124
	健康スポーツ科目		3		
	総合教育科目		20		
	外国語科目		▲8		
自学科共通専門科目	専門基礎	専門基礎	44	※36	
	国際関係学関連科目	国際文化関連科目			
	国際ビジネス関連科目	コミュニケーション関連科目			
	国際協力関連科目				
	演習	演習			
学部共通科目	インターナショナル・スタディーズ				
	地域研究				
	観光交流				
	スポーツ交流				
	専門外国語				
	他学科共通専門科目				
相互履修科目					
単位互換科目					

▲英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語・日本語（外国人留学生のみ）の中からいずれか1外国語を選択し8単位以上を修得しなければなりません。

※自由選択科目として、以下の範囲から合計36単位以上を修得しなければなりません。

総合教育科目、外国語科目、自学科共通専門科目、学部共通科目、他学科共通専門科目、相互履修科目（遠隔授業を含む）、単位互換科目

◇相互履修科目（遠隔授業を含む）・単位互換科目による修得単位と、外国の大学に留学し修得して本学部が認定した単位等外部機関において履修した科目や検定試験の結果等により認定した全ての単位において、卒業単位として算入できる単位数はあわせて60単位以内（学則第37条参照）です。（ただし、編入学生については別に定める）

◇履修する科目の単位数・履修学年・履修方法については、p.38～41に記載されていますので、よく読んで間違いのないようにしてください。

V 履修上の注意点と科目

履修上の注意点

1. すでに修得した科目については、再び履修することができません。
2. 上位学年に設置された科目は、その学年になるまで履修できません。
3. 開講科目の中には、受講生を学科やクラスで指定する科目や履修条件のある科目がありますので、本要覧、「シラバス（授業計画）」、「時間割」や掲示でよく確認してください。（「開発教育論」と「社会福祉論」は自学科開設科目のみ履修できます）
4. 授業科目によっては、教室収容人数等の事情により、担当教員の判断のもとで受講者数の制限を行うことがあります。
5. 外国語科目について、母語の履修はできません。

国際総合政策学科科目一覧

区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法	区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法		
基礎科目	国際関係論入門	1	2	◎必修科目	外国語科目	韓国語Ⅳ	1	2			
	国際文化論入門	1	2	◎必修科目		日本語Ⅰ	1	2			
	スタディ・スキルズ	1	1	◎必修科目		日本語Ⅱ	1	2			
	キャリアデザイン	1	2	◎必修科目		日本語Ⅲ	1	2			
	日本近現代史	1	2	◎必修科目		日本語Ⅳ	1	2			
	世界近現代史	1	2	◎必修科目		健康スポーツ科目	スポーツ科学と健康	1		2	◎必修科目
	情報処理	1	2	◎必修科目			スポーツ総合	1		1	◎必修科目
総合教育科目	哲学	1	2	総合教育科目は20単位以上を修得しなければならない。	専門基礎	国際関係論Ⅰ(理論)	2	2	◎必修科目		
	倫理学	1	2			国際法概論	2	2			
	歴史学	1	2			国際経済学	2	2			
	文化人類学	1	2			国際経営論	2	2			
	心理学	1	2			国際政治学	2	2			
	芸術	1	2			国際協力論	2	2			
	世界の宗教	1	2			地球環境と持続可能な開発	2	2			
	世界の言語	1	2		国際関係学関連科目	国際法	2	4			
	文学	1	2			平和学Ⅰ	2	4			
	社会学	1	2			国際関係史	2	4			
	法学	1	2			日本外交論	2	4			
	日本国憲法	1	2			安全保障論	2	4			
	政治学	1	2			戦略論	2	4			
	経済学	1	2			国際関係論Ⅱ	2	4			
	商学	1	2			国際連合論	3	4			
	経営学	1	2			国際政治史	3	4			
	ジェンダーと社会	1	2			地域統合論	3	4			
	数理の世界	1	2		国際機構論	3	4				
	生命の科学	1	2		国際ジャーナリズム論	3	4				
	情報論	1	2		国際関係私法	3	4				
	調査統計論	1	2		紛争研究	3	4				
	科学思想史	1	2		平和学Ⅱ	3	4				
	外国語科目	英語Ⅰ	1		2	外国語科目は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語・日本語(外国人留学生のみ)の中からいずれか1外国語を選択し、8単位以上を修得しなければならない。	国際総合政策学科共通専門科目	日本の平和と安全保障	3	4	
英語Ⅱ		1	2	国際関係学特別研究	4			4			
英語Ⅲ		1	2	国際ビジネス関連科目	証券市場論			2	4	学科共通専門科目は、44単位以上を修得しなければならない。	
英語Ⅳ		1	2		企業論			2	4		
ドイツ語Ⅰ		1	2		簿記論			2	4		
ドイツ語Ⅱ		1	2		ベンチャービジネス論			2	4		
ドイツ語Ⅲ		1	2		情報メディアリテラシー			2	4		
ドイツ語Ⅳ		1	2		経済学原論			2	4		
フランス語Ⅰ		1	2		経営学原論			2	4		
フランス語Ⅱ		1	2		現代経済社会			3	4		
フランス語Ⅲ		1	2		金融論		3	4			
フランス語Ⅳ		1	2		財政学		3	4			
中国語Ⅰ		1	2	租税論	3		4				
中国語Ⅱ		1	2	都市経済学	3		4				
中国語Ⅲ		1	2	経済学特別研究	4		4				
中国語Ⅳ		1	2	流通経済学	3		4				
スペイン語Ⅰ		1	2	経営情報論	3		4				
スペイン語Ⅱ		1	2	財務管理論	3		4				
スペイン語Ⅲ		1	2	国際貿易論	3		4				
スペイン語Ⅳ		1	2	国際金融論	3		4				
韓国語Ⅰ		1	2	会計学	3		4				
韓国語Ⅱ		1	2	マーケティング論	3		4				
韓国語Ⅲ		1	2	経営学特別研究	4		4				

区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法	
国際総合政策学科 国際協力関連科目 国際共通専門科目	国際ビジネス関連科目	情報システム理論と演習	3	3	
	プログラミング	3	1		
	Webデザインと技術	3	3		
	ビジネス統計演習	3	1		
	ビジネス・インテリジェンス	3	4		
	NGO/NPO論	2	4		
	開発教育論	2	4		
	国際技術協力論	2	4		
	社会開発論	2	4		
	地方自治論	2	4		
	開発経済論	3	4		
	ボランティア援助技術	3	4		
	交流マネジメント論	3	4		
	開発と食料	3	4		
	開発人類学	3	4		
	国際人事管理論	3	4		
	地域開発論	3	4		
	世界の食産業	3	4		
	食品流通論	3	4		
	社会福祉論	3	4		
	環境思想	4	4		
	資源エネルギー論	3	4		
	地球環境問題	3	4		
	環境社会学	3	4		
	環境倫理	4	4		
	都市環境論	3	4		
	国際環境法規	3	4		
	世界の食糧問題	3	4		
	演習	ゼミナールⅠ	3	2	◎必修科目
		ゼミナールⅡ	4	2	◎必修科目
		卒業論文	4	4	
	学部共通科目	国際交流(インターンシップ)	2	2	
国際交流(外国語実習)		1	2		
国際交流(事例研究)		2	2		
ティーチング・インターンシップ		2	2		
Japan Studies I(宗教・思想)		2	4		
Japan Studies II(日本文学)		2	4		
Japan Studies III(文化史)		2	4		
Japan Studies IV(日本社会)		2	4		
Japan Studies V(経済)		2	4		
Japan Studies VI(政治)		2	4		
Japan Studies VII(スペシャルレクチャー)		3	2		
Japan Studies VIII(スペシャルレクチャー)		3	2		
海外実地研究1		2	3		
海外実地研究2		2	3		
海外実地研究3		2	3		
海外実地研究4		2	3		
海外実地研究5		2	3		
海外実地研究6		2	3		
日本語コミュニケーションⅠ		2	2		
日本語コミュニケーションⅡ		2	2		
日本語文献講読Ⅰ	2	2			
日本語文献講読Ⅱ	2	2			
ビジネス日本語	2	2			

学科共通専門科目は、44単位以上を修得しなければならない。

区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法
地域研究	地域研究(概論)	3	4	
	地域研究(歴史)	3	4	
	地域研究(社会)	3	4	
	地域研究(特別研究Ⅰ)	4	4	
	地域研究(特別研究Ⅱ)	4	4	
	日本政治	3	4	
	日本経済	3	4	
	日本史	3	4	
	日本宗教思想	3	4	
	日本文学史	3	4	
日本文化	3	4		
日本社会	3	4		
観光交流	コミュニティ論	2	4	
	行政学	2	4	
	文化政策論	3	4	
	地域振興論	3	4	
	国際観光経営論	3	4	
	国際観光開発論	3	4	
	国際観光政策	3	4	
国際観光文化論	3	4		
スポーツ交流	スポーツ科学	3	2	
	スポーツと社会	3	2	
	スポーツ指導論	3	2	
	レクリエーション論	3	2	
学部共通科目	英語Ⅴ	2	2	
	英語Ⅵ	2	2	
	英語Ⅶ	2	2	
	英語Ⅷ	2	2	
	英語Ⅸ	2	2	
	英語Ⅹ	3	2	
	ドイツ語Ⅴ	2	2	
	ドイツ語Ⅵ	2	2	
	ドイツ語Ⅶ	2	2	
	フランス語Ⅴ	2	2	
フランス語Ⅵ	2	2		
フランス語Ⅶ	2	2		
専門外国語	中国語Ⅴ	2	2	
	中国語Ⅵ	2	2	
	中国語Ⅶ	2	2	
	スペイン語Ⅴ	2	2	
	スペイン語Ⅵ	2	2	
	スペイン語Ⅶ	2	2	
	韓国語Ⅴ	2	2	
	韓国語Ⅵ	2	2	
	韓国語Ⅶ	2	2	
	日本語Ⅴ	2	2	
	日本語Ⅵ	2	2	
	日本語Ⅶ	2	2	
	特定言語初級	2	2	
特定言語中級	2	2		
特定言語上級	2	2		

国際教養学科科目一覧

区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法	区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法		
基礎科目	国際関係論入門	1	2	◎必修科目	外国語科目	韓国語Ⅰ	1	2			
	国際文化論入門	1	2	◎必修科目		韓国語Ⅱ	1	2			
	スタディ・スキルズ	1	1	◎必修科目		韓国語Ⅲ	1	2			
	キャリアデザイン	1	2	◎必修科目		韓国語Ⅳ	1	2			
	日本近現代史	1	2	◎必修科目		日本語Ⅰ	1	2			
	世界近現代史	1	2	◎必修科目		日本語Ⅱ	1	2			
	情報処理	1	2	◎必修科目		日本語Ⅲ	1	2			
総合教育科目	哲学	1	2	総合教育科目は20単位以上を修得しなければならない。	健康スポーツ科目	スポーツ科学と健康	1	2	◎必修科目		
	倫理学	1	2			スポーツ総合	1	1	◎必修科目		
	歴史学	1	2		国際文化関係連科目	専門基礎	国際文化論	2	2	◎必修科目	
	文化人類学	1	2				比較文化論	2	2		
	心理学	1	2				異文化コミュニケーション論	2	2		
	芸術	1	2			社会学概論	2	2	◎必修科目		
	世界の宗教	1	2			国際文化関係連科目	国際文化関係連科目	日米比較文化論	2	4	学科共通専門科目は、44単位以上を修得しなければならない。
	世界の言語	1	2					日欧比較文化論	2	4	
	文学	1	2					日中比較文化論	2	4	
	社会学	1	2					現代思想	2	4	
	法学	1	2					文化記号論	2	4	
	日本国憲法	1	2					宗教文化	2	4	
	政治学	1	2					イスラム文化	2	4	
	経済学	1	2					アメリカ文化	2	4	
	商学	1	2					ヨーロッパ文化史	2	4	
	経営学	1	2					中国文化史	2	4	
	ジェンダーと社会	1	2					サブカルチャー論	3	4	
	数理の世界	1	2					芸術表現論	3	4	
	生命の科学	1	2					比較文学論	3	4	
	情報論	1	2					英米文学史	2	2	
調査統計論	1	2	現代言語学	3	4						
科学思想史	1	2	英米言語文化研究	3	4						
外国語科目	英語Ⅰ	1	2	外国語科目は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語・日本語(外国人留學生のみ)の中からいずれか1外国語を選択し、8単位以上を修得しなければならない。	国際教養学科共通専門科目	ヨーロッパ言語文化研究	3	4			
	英語Ⅱ	1	2			批評理論	3	4			
	英語Ⅲ	1	2			漢字文化論	3	4			
	英語Ⅳ	1	2			日本語文化研究	3	4			
	ドイツ語Ⅰ	1	2			フィールドワーク	2	4			
	ドイツ語Ⅱ	1	2			国際人口移動論	2	4			
	ドイツ語Ⅲ	1	2			メディアと社会	2	4			
	ドイツ語Ⅳ	1	2			都市社会学	2	4			
	フランス語Ⅰ	1	2			開発教育論	2	4			
	フランス語Ⅱ	1	2			現代社会学理論	2	4			
	フランス語Ⅲ	1	2			エスノグラフィー論	2	4			
	フランス語Ⅳ	1	2			文化人類学理論	2	4			
	中国語Ⅰ	1	2			人権論	2	4			
	中国語Ⅱ	1	2			社会福祉論	3	4			
	中国語Ⅲ	1	2			社会心理学	3	4			
	中国語Ⅳ	1	2			親族と婚姻論	3	4			
	スペイン語Ⅰ	1	2			カルチュラルスタディーズ	4	4			
	スペイン語Ⅱ	1	2			表象文化論	4	4			
スペイン語Ⅲ	1	2	国際時事問題	3	4						
スペイン語Ⅳ	1	2									

区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法
国際教養学科共通専門科目	英語コミュニケーションⅠ	2	2	学科共通専門科目は、44単位以上を修得しなければならない。
	英語コミュニケーションⅡ	2	2	
	英語文献講読	2	2	
	英語学	2	2	
	英語音声学	2	2	
	英文法	2	2	
	英作文	2	2	
	英語発達史	2	2	
	インターネット英語	2	2	
	ビジネス英語	2	2	
	英語翻訳・通訳法	3	2	
	英語レクチャーシリーズ	3	2	
	ドイツ語コミュニケーション	2	2	
	ドイツ語文献講読	2	2	
	フランス語コミュニケーション	2	2	
	フランス語文献講読	2	2	
	中国語コミュニケーション	2	2	
	中国語文献講読	2	2	
	スペイン語コミュニケーション	2	2	
	スペイン語文献講読	2	2	
韓国語コミュニケーション	2	2		
韓国語文献講読	2	2		
日本語教授法	1	2		
日本語学	1	4		
演習	ゼミナールⅠ	3	2	◎必修科目
	ゼミナールⅡ	4	2	◎必修科目
	卒業論文	4	4	
学部共通科目	国際交流(インターンシップ)	2	2	
	国際交流(外国語実習)	1	2	
	国際交流(事例研究)	2	2	
	ティーチング・インターンシップ	2	2	
	Japan Studies Ⅰ(宗教・思想)	2	4	
	Japan Studies Ⅱ(日本文学)	2	4	
	Japan Studies Ⅲ(文化史)	2	4	
	Japan Studies Ⅳ(日本社会)	2	4	
	Japan Studies Ⅴ(経済)	2	4	
	Japan Studies Ⅵ(政治)	2	4	
	Japan Studies Ⅶ(スペシャルレクチャー)	3	2	
	Japan Studies Ⅷ(スペシャルレクチャー)	3	2	
	海外実地研究 1	2	3	
	海外実地研究 2	2	3	
	海外実地研究 3	2	3	
	海外実地研究 4	2	3	
	海外実地研究 5	2	3	
	海外実地研究 6	2	3	
	日本語コミュニケーションⅠ	2	2	
	日本語コミュニケーションⅡ	2	2	
日本語文献講読Ⅰ	2	2		
日本語文献講読Ⅱ	2	2		
ビジネス日本語	2	2		

区分	授業科目	履修開始年次	単位数	履修方法
地域研究	地域研究(概論)	3	4	
	地域研究(歴史)	3	4	
	地域研究(社会)	3	4	
	地域研究(特別研究Ⅰ)	4	4	
	地域研究(特別研究Ⅱ)	4	4	
	日本政治	3	4	
	日本経済	3	4	
	日本史	3	4	
	日本宗教思想	3	4	
	日本文学史	3	4	
日本文化	3	4		
日本社会	3	4		
観光交流	コミュニティ論	2	4	
	行政学	2	4	
	文化政策論	3	4	
	地域振興論	3	4	
	国際観光経営論	3	4	
	国際観光開発論	3	4	
スポーツ交流	国際観光政策	3	4	
	国際観光文化論	3	4	
	スポーツ科学	3	2	
	スポーツと社会	3	2	
学部共通科目	スポーツ指導論	3	2	
	レクリエーション論	3	2	
	英語Ⅴ	2	2	
	英語Ⅵ	2	2	
	英語Ⅶ	2	2	
	英語Ⅷ	2	2	
	英語Ⅸ	2	2	
	英語Ⅹ	3	2	
	ドイツ語Ⅴ	2	2	
	ドイツ語Ⅵ	2	2	
専門外国語	ドイツ語Ⅶ	2	2	
	フランス語Ⅴ	2	2	
	フランス語Ⅵ	2	2	
	フランス語Ⅶ	2	2	
	中国語Ⅴ	2	2	
	中国語Ⅵ	2	2	
	中国語Ⅶ	2	2	
	スペイン語Ⅴ	2	2	
	スペイン語Ⅵ	2	2	
	スペイン語Ⅶ	2	2	
その他	韓国語Ⅴ	2	2	
	韓国語Ⅵ	2	2	
	韓国語Ⅶ	2	2	
	日本語Ⅴ	2	2	
	日本語Ⅵ	2	2	
	日本語Ⅶ	2	2	
	特定言語初級	2	2	
特定言語中級	2	2		
特定言語上級	2	2		

外国語履修条件等

外国語科目

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語・日本語

I～IV	1年次科目	I～IVまで同時またはIから順に履修することが望ましい
------	-------	-----------------------------

学部共通科目

英語

V～IX	2年次科目	I～IVを履修登録済みであり、そのうち3科目以上修得していること または、TOEIC® 公開テスト400点・TOEIC®-IP400点以上を取得していること ※
X	3年次科目	I～IVを履修登録済みであり、そのうち3科目以上修得していること または、TOEIC® 公開テスト400点・TOEIC®-IP400点以上を取得していること ※

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語

V～VII	2年次科目	I～IVを履修登録済みであり、そのうち3科目以上修得していること
-------	-------	----------------------------------

日本語

文献講読 I・II, ビジネス, コミュニケーション I・II	2年次科目	条件は特になし(個別対応の場合もあり)
---------------------------------	-------	---------------------

特定言語 (インドネシア語・ロシア語・アラビア語)

初級	2年次科目	1言語を選択し、初級から順に履修することが望ましい
中級	2年次科目	1言語を選択し、初級～上級まで同時または初級から順に履修することが望ましい
上級	2年次科目	1言語を選択し、初級～上級まで同時または初級から順に履修することが望ましい

【注意事項】

- * 1年次においては2言語までしか外国語科目を履修することができません。また、1年次に2言語を受講する場合は必ず英語を含めなければなりません。(外国人留学生在が日本語を履修する場合を除く)
- * 母語の履修は認めません。
- * 編入生については外国語に係る履修条件はありません。ただし、科目担当教員のレベル判断を受け、許可を得ること。
- * 特定言語は卒業までに2言語以上履修することはできません。

国際教養学科専門教育科目

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語

文献講読, コミュニケーション	2年次科目	条件は特になし
--------------------	-------	---------

英語

インターネット, ビジネス	2年次科目	I～IVを履修登録済みであり、そのうち3科目以上修得していること または、TOEIC® 公開テスト400点・TOEIC®-IP400点以上を取得していること ※
翻訳・通訳法, レクチャーシリーズ	3年次科目	I～IVを履修登録済みであり、そのうち3科目以上修得していること または、TOEIC® 公開テスト400点・TOEIC®-IP400点以上を取得していること ※

※TOEIC®公開テスト400点以上・TOEIC®-IP400点以上を取得していることを条件に履修する場合は、国際教育センターに取得した証明となるものの写しを4月履修登録開始日までに提出してください。

ゼミナール・卒業論文

卒業論文は、国際関係学部で学んだ成果を集大成するものです。卒業論文の指導と評価を受けるためには、原則として同一教員のゼミナールⅠ（3年次）・ゼミナールⅡ（4年次）を履修し、その教員の指導のもとで卒業論文を作成してください。

●ゼミナール担当教員の決定

- ・各自が研究したいテーマや対象にしたい地域、使用言語、及び担当教員の専攻分野を考慮して、履修前に担当教員と相談し、了承を得て決定します。できるだけ早い時期に研究テーマを絞り、関連する専門科目を履修したうえで、希望する担当教員を決めることが望まれます。
- ・2年次後期に「ゼミナール履修ガイダンス」を行います。ゼミナール及び卒業論文に関する詳細は、このガイダンスでお知らせします。

●ゼミナール・卒業論文の履修条件

- ・ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡは必修科目です。
- ・ゼミナールⅡをゼミナールⅠより先に履修することはできません。
- ・再履修者を除いて、ゼミナールⅠとゼミナールⅡを同一学年で履修することはできません。ただし、3年次に留学して、4年次でゼミナールⅠとゼミナールⅡの同時履修を認める場合があります。(留学前に希望するゼミナールの担当教員と相談し、指導を受けてください)
- ・卒業論文の履修はゼミナールⅠ及びゼミナールⅡの履修が条件になります。
- ・卒業論文の履修は、3年終了時の卒業に必要な単位数の合計が、76単位以上であること。

●ゼミナール・卒業論文の単位の取り扱い

- ・ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ・卒業論文は同一教員の指導により評価され、修得単位はそれぞれの科目として独立して取り扱われます。(ゼミナールⅠ・Ⅱ→各2単位 卒業論文→4単位)
- ・ゼミナール及び卒業論文は原則として所属する学科のゼミナール及び卒業論文を履修することになりますが、各自の希望研究内容により、他学科のゼミナール及び卒業論文を志望することも可能です。

●卒業論文の提出

- ・卒業論文は、1月中旬の指定された日時に、教務課に提出してください。この指定された日時以外は、いかなる理由があっても受理されません。
- ・「卒業論文」（4単位）の履修希望者は4年次の年度初め（履修登録期間内）に必ず履修登録を行ってください。履修登録のない「卒業論文」については受理できませんので注意してください。

国際交流（インターンシップ）

●国際交流（インターンシップ）

- ・国際交流（インターンシップ）は講義や演習等で学んだ諸知識を、実際の企業活動で体験することにより、学生個人の認識に昇華・定着させる科目です。
 - a 課題発見のための学習ができる。
 - b 学生から社会人への自覚を促すことができる。
 - c 企業の人材育成への要請と大学教育との調整ができる。
 - d 企業と大学の諸交流を深めることができる。

●実習期間とタイプは次の通りとします。

- ・一人1日8時間×10日（2週間）の実習を一実習とします。
- ・集中実習タイプとは、夏季・春季等の休暇中に実施するものです。
- ・その他の実習タイプ

●実習条件

- ・実習先企業は原則として大学と契約した企業です。
- ・学生が個人的に交渉した企業でも、大学の定める基準に適合し、契約すれば対象として認めます。
- ・実習日及び時間は実習先企業の諸規定によります。
- ・日当及び手当は原則として支給されません。
- ・通勤中や実習中に発生した通常の事故や損害については、原則として大学が負担することとします。

●受講の方法と手続き

- ・受講者は、4月の履修登録期間中に「国際交流（インターンシップ）」を履修登録してください。また、日程・手続き・受け入れ企業先に関するガイダンス日程については、4月～5月に掲示します。
- ・受け入れ企業確定後、実習先企業との調整を担当教員から受け、実習日程を調整します。
- ・**指導教員による個別指導**を実施します。また、ビジネスマナー講座もしくはそれに相当する措置を実施しますので、インターンシップ前に必ず受講してください。なお受講しない場合、実習を許可しない場合があります。
- ・その後の日程に従ってインターンシップを実施します。
- ・インターンシップ終了後、報告会を実施しますので、必ず出席してください。（11月下旬～12月上旬）

●単位認定

- ・インターンシップ期間中は企業担当者の指示により各種業務に従事してください。
- ・毎日、実習日誌を作成して企業担当指導者に提出し、点検を受けてください。
- ・実習期間終了後2週間以内に、実習報告書及び課題レポートを作成し、日誌、証明書を添えて、指導教員に提出してください。
- ・指導教員が、提出各種書類及び実習先指導担当者報告書を審査し、総合的に評価し、単位を認定します。

国際交流（外国語実習）

「国際交流（外国語実習）」科目は、語学の実践力を向上させる目的で、日本大学及び国際関係学部が外国の大学などで実施する短期海外研修に参加し、一定の成果を修めた者に対して単位を付与するものです。

① 対象となる短期海外研修

(1) 日本大学本部が実施する短期海外研修（2015年4月現在）

学習言語	地域	研修先	研修期間
英語	イギリス	ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ・サマースクール	8月上旬～9月上旬 (約4週間)
英語	アメリカ	エリザベスタウン・カレッジ・サマースクール	7月下旬～9月上旬 (約3週間)
英語	オーストラリア	ボンド大学附属英語研修機関	2月上旬～3月中旬 (約5週間)

上記研修プログラムは、日本大学本部が取扱窓口となりますので、本部国際交流室ウェブサイトにて当該年度の募集要項を確認の上、直接申し込み手続きを取ってください。なお、参加者の募集については、国際研究室前掲示板などでも告知されます。

(2) 日本大学国際関係学部・短期大学部（三島）が実施を予定している短期海外語学研修（2015年度予定）

学習言語	地域	研修先	研修期間
英語	アメリカ	ストーニーブルック大学	8月上旬～8月中旬
		TIEC (Texas International Education Consortium)	2月上旬～3月上旬
		ハワイ大学	8月上旬～8月下旬
	ニュージーランド	WITT (Western Institute of Technology at Taranaki)	8月中旬～9月中旬
	カナダ	トロント大学	8月中旬～9月上旬
中国語	中国	北京大学国際関係学院	8月上旬～8月下旬
ドイツ語	ドイツ	フライブルク大学	8月上旬～9月中旬
フランス語	フランス	西カトリック大学	8月上旬～9月上旬
スペイン語	スペイン	サラマンカ大学	8月上旬～8月下旬

- ・履修していない言語の地域に参加希望の学生は、担当教員と事前に相談してください。
- ・参加希望者が少数の場合は、実施されないことがあります。
- ・各年度の研修期間、研修内容、申込手続方法、参加費用等の詳細は、掲示または短期海外研修ガイダンスで説明します。不明な点については国際教育センターに問い合わせください。

② 履修できる学年 1年次から4年次まで履修できます。

③ 成績評価

日本大学が実施する短期海外研修は、教授会で承認の上、1回に限り単位認定します。認定された単位は、一年間に履修できる最高単位には含みません。また、日本大学国際関係学部が実施する短期海外研修は、各地域担当教員が成績評価を行います。

※「国際交流（外国語実習）」（2単位）の履修希望者は原則として、留学を希望する年度初めの履修登録期間内に必ず履修登録を行ってください。なお、研修に参加しなかった場合は、後期の履修登録科目の削除・追加期間に履修登録を削除してください。履修登録期間に履修登録をできなかった場合、後期履修登録の削除・追加期間内に自分で履修登録をしてください。後期に募集を行う海外研修（ボンド大学、TIEC）については後期の履修登録科目の削除・追加期間内に追加登録することができます。

相互履修科目

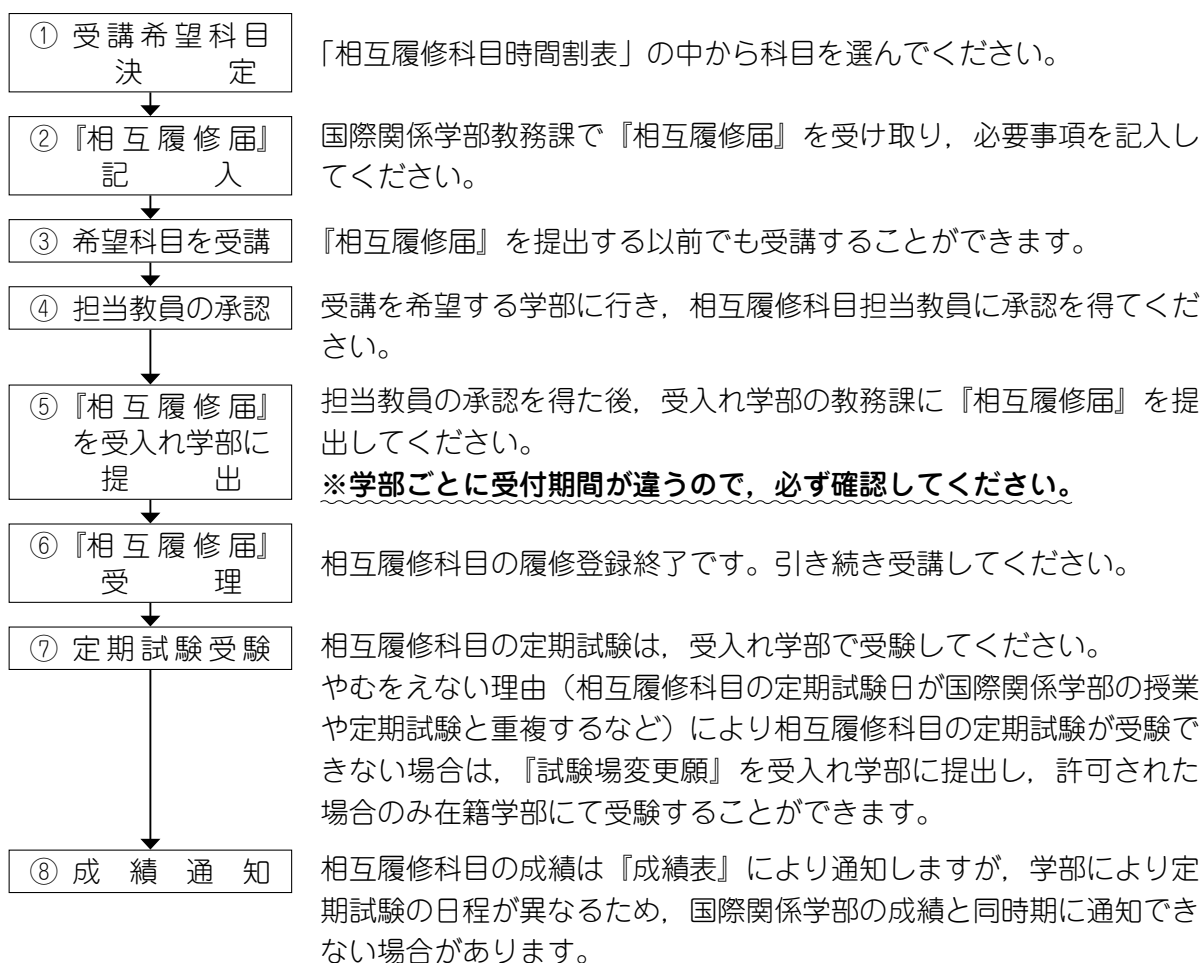
【日本大学他学部との相互履修科目】

相互履修とは、卒業単位として日本大学他学部の科目を履修できる制度です。この制度によって日本大学ならではの幅広い教育・研究の総合性が発揮されるとともに、学生同志の交流も深まり、学問上の専門的な偏りのない豊かな人間性の確立が期待されます。相互履修科目は各学部がその開講科目のうちから指定して履修を認めるものです。

相互履修制度を利用する場合は、国際関係学部の必修科目の時間割を優先し、卒業に必要な単位と他学部への通学時間などを充分考慮して決定してください。

① 相互履修の手順

他学部の授業を履修するためには、次の手順による手続きが必要になります。



② 履修できる学年

3年次から履修できます。

③ 履修登録について

上記①の⑥までの手順が終了した後、教務課で履修登録処理を行います。履修登録処理が終了次第、UNIPAの「学生時間割表」で確認できます。

④ 単位の取り扱い

自由選択科目として卒業単元に算入します。なお、履修単位は年間最高履修登録単位数に含まれます。

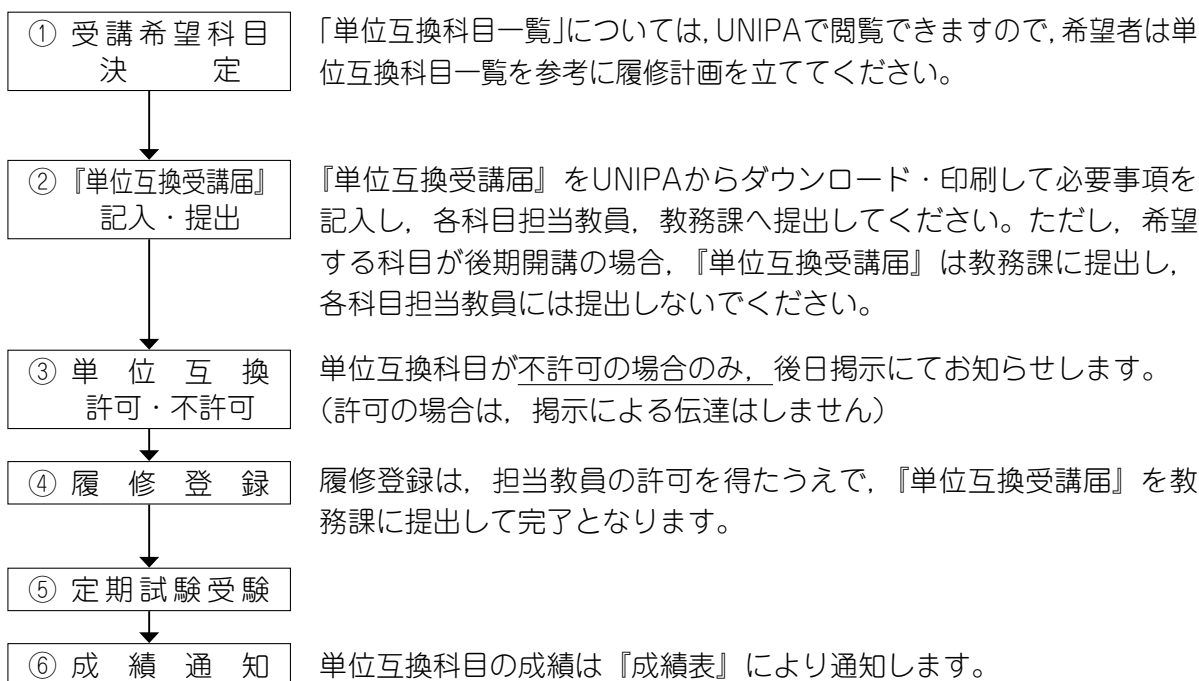
単位互換科目

【短期大学部（三島）との単位互換科目】

国際関係学部の学生は、三島キャンパスに併設されている短期大学部（三島）の授業を履修することが可能です。短期大学部（三島）との単位互換制度を利用する場合は、国際関係学部の必修科目の時間割を優先し、卒業に必要な単位を充分考慮して決定してください。

① 単位互換の手順

短期大学部（三島）の授業を履修するためには、次の手順による手続きが必要になります。



② 履修できる学年

1年次から履修できます。

③ 履修上のルール

- ①単位互換科目の1年間で履修登録できる単位数は、20単位を上限とします。また単位互換科目の履修登録単位数は、年間の最高履修単位数に含まれます。
- ②上位学年に設置された科目は、その学年になるまで履修できません。
- ③履修できる科目は、UNIPAで閲覧できます。
- ④単位互換科目の中には、受講者数制限等の理由により、開講学科の学生が優先される為、受講できない場合もあります。

④ 履修登録について

上記①の④までの手順が終了した後、教務課で履修登録処理を行います。履修登録処理が終了次第、UNIPAの「学生時間割表」で確認できます。

⑤ 単位の取り扱い

自由選択科目として卒業単位に算入します。なお、履修単位は年間最高履修登録単位数に含まれます。

遠 隔 授 業

「遠隔授業」プログラムの特色は、日本大学総合学術情報センター（埼玉県所沢市）がもつ独自の地上系広域ネットワークシステム（日大WAN）を活用していることです。

遠隔授業は、異なった学問専攻分野の学部学生が、同一のプログラム授業を受講し、各学部で卒業単位として認定するという総合大学ならではの正課授業です。実施概要は、次のとおりとなります。

① 実施形態

- ・送信学部及び受信学部とも学生がいます。
- ・授業は、テレビ会議システムを利用して行われ、教員と学生がお互いに映像、音声等によるやりとりを行います。
- ・送・受信学部の教室には、T A（ティーチング・アシスタント）を配置します。

② 授業科目・内容

当該年度の時間割、「シラバス（授業計画）」により確認してください。

*シラバス（授業計画）については、最初の講義日に配付します。

③ 履修年次

2年生以上

④ 履修登録について

履修登録は第1回目の授業で受講届を提出し、UNIPAで履修登録を必ず行ってください。

⑤ 単位の取り扱い

自由選択科目として卒業単位に算入します。なお、履修単位は年間最高履修登録単位数に含まれます。

教 職 課 程

教職課程とは

教育職員免許法に定められる所定単位修得により、教育職員免許状を取得するための課程のことです。

国際関係学部では、国際教養学科に教職課程が設置されています。本学部の卒業要件（基礎資格）及び教職課程の所定の要件を満たし単位を修得することによって、教員免許を取得することができます。国際総合政策学科の学生も履修可能ですが、単位の取り扱いが異なりますので注意してください。本学部で教職課程を履修する場合には、1年次から履修するようにしてください。原則として、3年次以降からの履修はできません。

教職課程は通常の授業以外に、教職科目の履修や介護等体験、教育実習への参加が必要となりますので、強く教員を希望するという意志をもって履修するようにしてください。また、4年間で複数回に及ぶガイダンスへの出席を必須とします。

実際に教員になるには、大学で教職課程を修得し卒業時に免許を取得したうえで、各関係機関において実施される教員採用試験に合格することが必要です。このように、教員の採用は容易なものではありませんが、本学部では、志を高く持つ学生を広く求めています。

① 取得できる免許状

国際関係学部の在学学生が取得できる免許状は次のとおりです。

教員免許状を取得するには、卒業することが前提条件（基礎資格）となっています。

免許状の種類	教科
中学校教諭一種免許状	英 語
高等学校教諭一種免許状	英 語

② 履修方法

本学部では、中学校一種・高等学校一種免許状の同時取得を目指します。そのために必要な単位数は、次ページ「教職課程履修科目」のとおりです。必修科目、選択必修科目、卒業単位数に参入されない科目など様々な特性を持った科目があります。よく読んで単位不足にならないよう気をつけてください。なお、海外留学等で修得した単位認定科目は、本学の卒業単位数に換算されても、教員免許状取得に要する科目（次ページ「その他省令による科目」を除く）の単位としては認定されません。半期以上留学する場合は、事前に教務課に報告してください。

教職課程の履修を取り止める場合には、別途「**教職課程取り止め願**」を提出する必要があります。取り止める場合には、教務課で「教職課程取り止め願」に必要事項を記入・押印の上、教務課に提出してください。

教職課程履修科目

履修開始年次 免許法 による区分		1 年		2 年		3 年		4 年		最低必要単位数
その他省令による科目	日本国憲法	○日本国憲法	2							2
	体育	○スポーツ科学と健康 ○スポーツ総合	2 1							3
	外国語コミュニケーション	○英語Ⅰ ○英語Ⅱ ○英語Ⅲ ○英語Ⅳ	2 2 2 2	○英語Ⅴ ○英語Ⅵ △英語Ⅶ △英語Ⅷ △英語Ⅸ	2 2 2 2 2	△英語Ⅹ	2			14
	情報機器の操作	○情報処理	2							2
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目			★○現代教職論	2					
	教育の基礎理論に関する科目	★○教育原論	2	★○発達と学習 ★○教育制度論	2 2					
	教職課程及び指導法に関する科目			★○英語科教育法Ⅰ ★○英語科教育法Ⅱ ★○道徳教育の理論と方法 ★○特別活動論 ★○教育の方法・技術論	2 2 2 2 2	★○英語科教育法Ⅲ(※1) ★ 英語科教育法Ⅳ	2 2			
	生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目			★○生徒指導・進路指導論	2	★○教育相談(※1)	2			
	教育実習					★○教育実習 事前・事後指導(※2) ★○教育実習Ⅰ ★ 教育実習Ⅱ	1 4 2			
	教職実践演習							★○教職実践演習(中・高)	2	31
教科に関する科目	英語学			○英語学 ○英語音声学 ○英文法 英語発達史 英作文	2 2 2 2 2	○英米言語文化研究	4			
	英米文学			○英米文学史	2					
	英語コミュニケーション			○英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ ビジネス英語 インターネット英語	2 2 2 2	○英語翻訳・通訳法 英語レクチャーシリーズ	2 2			
	異文化理解			□異文化コミュニケーション論 □アメリカ文化 □日米比較文化論	2 4 4					※3 24
教科又は教職に関する科目			○人権論 ティーチング・インターンシップ ★ 教育実践体験研究Ⅰ ★ 教育実践体験研究Ⅱ ★ 学校インターンシップ	4 2 2 2 2					4	
合計単位										80

○印は、教職必修科目です。

△印及び□印は、選択必修科目です。(△印、□印の科目を必ず1科目以上修得してください)

★印は、卒業単位(自由選択単位を含む)に算入できません。またGPAにも算入されません。

※1 教育実習前の修得が望ましい。

※2 教育実習実施直前の学期に履修してください。詳しい日程は掲示でお知らせします。

(例：4年前期に教育実習の場合3年後期に履修)

※3 教職必修科目に加えて、数科目履修し教科に関する科目を24単位以上修得してください。

③ 教育実習

教育実習は4年次または3年次後期に実施することができます。教育実習校には、実習を行う前年の早い時期に受入れ許可をもらう必要があります（教育実習内諾）。ただし、教育実習内諾及び教育実習を行うには以下の条件がありますので、指定された日までに条件をクリアするよう努めてください。

(1) 教育実習内諾許可条件（教育実習実施前々年度まで）

- ① 「教育原論」の修得が必要です。
- ② 次のいずれかのスコアを取得し、1年次後期授業終了時までにスコアの写しを教務課に提出する必要があります。（名称・試験形態の変更により、スコアが変更される場合があります）
 - ・ 実用英語技能検定 2級以上
 - ・ TOEFL-ITP® (Level 1) 400点以上
 - ・ TOEIC®公開テスト 450点以上
 - ・ TOEIC®-IP 450点以上
 - ・ TOEFL-iBT® 32点以上
- ③ 教職課程に関する事務手続き・ガイダンスに出席することが必要です。

(2) 教育実習許可条件（教育実習実施前年度まで）

- ① 次のいずれかのスコアを取得し、指定された期日までにスコアの写しを教務課に提出する必要があります。他の検査については、以下スコアと同等以上の取得が求められます。（名称・試験形態の変更等により、スコアが変更される場合があります）
 - ・ 実用英語技能検定 2級以上
 - ・ TOEFL-ITP® (Level 1) 450点以上
 - ・ TOEIC®公開テスト 450点以上
 - ・ TOEIC®-IP 450点以上
 - ・ TOEFL-iBT® 45点以上
- ② 「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ」の修得が必要です。
- ③ 「英語Ⅰ～Ⅵ」の全ての修得及び「英語Ⅶ～Ⅹ」のうちいずれか1科目の修得が必要です。
- ④ 「現代教職論」、「発達と学習」、「道徳教育の理論と方法」、「特別活動論」、「生徒指導・進路指導論」の5科目のうち2科目以上の修得が必要です。
- ⑤ 「英語学」、「英語音声学」、「英文法」、「英米文学史」の4科目のうち、2科目以上の修得が必要です。
- ⑥ 教職課程に関する事務手続き・ガイダンスに出席することが必要です。

(3) 教育実習直前

「教育実習事前・事後指導」の履修が必要です。

④ 介護等の体験

中学校教諭免許状を取得するためには、「教育職員免許法の特例としての介護等の体験」が必要となります。

「介護等の体験」の概要

- (1) 体験期間：特別支援学校 2 日間，社会福祉施設 5 日間の合計 7 日間です。
- (2) 体験の学年・時期：「介護等の体験」は 3 年次または 4 年次 8・9 月に実施予定です。
- (3) 体験内容・費用：体験内容の詳細は，各体験施設等の指示によります。また費用は自己負担となります。

5 英語教員を志す学生へ

文部科学省は「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」（平成15年3月31日）において、英語教員が備えておくべき英語能力の目標値として、英検準1級、TOEFL® 550点、TOEIC® 730点と設定しています。一方、英語教員採用試験を実施している全国の教育委員会の中には、独自に文部科学省の設定した目標値以上の数値（例えば、英検1級、TOEFL® 580点、TOEIC® 800点など）を挙げて、そのいずれかの数値に達していれば英語の試験の受験を免除するなどの方法をとっています。

英語教員を志す学生は、このような状況を踏まえ、自分の英語力を正確に把握して、自分に合った具体的で達成可能な目標を設定し、実現させてください。それを積み重ねていくことが大切です。目標達成のための近道はありません。

6 履修カルテ

教職課程の履修開始から修了まで記入が必要となります。毎年4月に実施するガイダンス及び教職実践演習で記入します。

学生番号	学科	小/中/高 氏名	取得免許 校種・教科	道 路	推薦・小・中 教職以外	教職 希望	日本大学 国際関係 学部
氏名	学科	入学 年度	年度	小・中・高	写真 (3cm×4cm)	学内での活動(サークル等)	
学年	1	2	3	教職課程	学外での活動(ボランティア、アルバイト等)		
履修所	Tel.	PC address	Mail address	職務			
① 社会実習先	Tel.	PC address	Mail address	履修			
② 社会実習先	Tel.	PC address	Mail address	※自己分析			
学歴・履歴(高等学校卒業以降)							
推薦書取得等のための基礎情報	責任感 S・A・B・C・D 指導性 S・A・B・C・D						
生年月日 (西暦) 年 月 日生	主体性 S・A・B・C・D 慎重さ S・A・B・C・D						
※生年月日記入欄 (4月1日の生誕)	協調性 S・A・B・C・D 共感力 S・A・B・C・D						
※については、3年次終了時に記入する。	自己分析						

7 小学校教員養成特別プログラム

玉川大学通信教育部と「小学校教員養成特別プログラム」に関する協定を結び、小学校教諭二種免許状取得の機会を設けています。本プログラム履修には、別に定める推薦基準を満たすこと、さらに在学中に中学校・高等学校教諭一種免許状の取得が必要です。また玉川大学通信教育部での履修費等が別途必要になります。詳細は、教職ガイダンス・教務課で確認してください。

教職課程に係るガイダンス等の案内は掲示（UNIPA・15号館1階）でお知らせしますので、各自見落としがないよう十分注意してください。

「日本語教育能力検定試験」関連分野科目

「海外で日本語を教えてみたい」「外国人に日本語を教えてみたい」という人のために、公益財団法人日本国際教育支援協会の主催によって「日本語教育能力検定試験（公益社団法人日本語教育学会認定）」が実施されています。この検定試験は、外国人に日本語を教えるための知識及び能力が日本語教育の専門家として必要な水準に達しているかどうかを審査し、これを証明することを目的とした試験です。

本学部では、検定試験受験に際して、関連のある分野の科目を設けています。検定試験が要求する内容と水準を満たす日本語教員として最低限必要な専門知識・能力を習得します。資格取得を希望する学生は、p.55にあげる科目の中から必要なものを選び、試験の対策に役立ててください。

なお、海外の学校で実際に日本語を教える留学プログラムとして「ティーチング・インターンシップ・プログラム」（p.75参照）があります。是非この検定試験と併せてチャレンジしてください。

「日本語教育能力検定試験」概要（平成27年度実施要項より）

（毎年、変更する可能性があるため、詳細はJEES ホームページで確認のこと）

日本国際教育支援協会JEES（Japan Educational Exchanges and Services）：

<http://www.jees.or.jp/jltct/>

■ 目的

日本語教員となるために学習している者、日本語教員として教育に携わっている者等を対象として、その知識及び能力が日本語教育の専門家として必要とされる基礎的水準に達しているかどうかを検定することを目的とする。

■ 実施者

公益財団法人 日本国際教育支援協会

■ 試験の方法、内容等

受験資格：特に制限しない。

試験の構成：試験Ⅰ（90分、100点）

原則として、出題範囲の区分ごとの設問により、基礎知識・能力、分析的知識・能力を測定する。

試験Ⅱ（30分、40点）

試験Ⅰで求められる「基礎的な知識」及び試験Ⅲで求められる「基礎的な問題解決能力」について、音声を媒体とした出題形式で測定する。

試験Ⅲ（120分、100点）

原則として出題範囲の区分横断的な設問により、熟練した日本語教員の有する現場対応能力につながる基礎的な問題解決能力を測定する。

試験日：平成27年10月25日(日)

試験地：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

■ 出願の手続き等

受験案内：出願手続き等の細目については、毎年発行される「日本語教育能力検定試験受験案内」による。受験案内は願書受付期間中、全国の主要書店にて販売の予定。

出願手続き：願書：所定のもの

受験料：10,600円（消費税等含む）

受付期間：平成27年は6月22日(月)から8月10日(月)まで（消印有効）

出願：公益財団法人日本国際教育支援協会に提出

■ 出題範囲

これまでの出題範囲において、日本語教育能力の核となる「基礎項目」（下表*印）を設定し、これを優先的に出題する。ただし、全範囲にわたって出題されるとは限らない。

「社会・文化・地域」区分

1. 世界と日本

(1)諸外国・地域と日本

* (2)日本の社会と文化

2. 異文化接触

* (1)異文化適応・調整

(2)人口の移動（移民・難民政策を含む）

(3)児童生徒の文化間移動

3. 日本語教育の歴史と現状

* (1)日本語教育史

(2)日本語教育と国語教育

* (3)言語政策

(4)日本語の教育哲学

* (5)日本語及び日本語教育に関する試験

(6)日本語教育事情：世界の各地域、日本の各地域

4. 日本語教員の資質・能力

「言語と社会」区分

1. 言語と社会の関係

* (1)社会文化能力

(2)言語接触・言語管理

* (3)言語政策

(4)各国の教育制度・教育事情

* (5)社会言語学・言語社会学

2. 言語使用と社会

(1)言語変種

* (2)待遇・敬意表現

* (3)言語・非言語行動

(4)コミュニケーション学

3. 異文化コミュニケーションと社会

(1)言語・文化相対主義

(2)二言語併用主義(バイリンガリズム(政策))

* (3)多文化・多言語主義

(4)アイデンティティ（自己確認, 帰属意識）

「言語と心理」区分

1. 言語理解の過程

(1)予測・推測能力

* (2)談話理解

(3)記憶・視点

(4)心理言語学・認知言語学

2. 言語習得・発達

* (1)習得過程（第一言語・第二言語）

* (2)中間言語

(3)二言語併用主義(バイリンガリズム)

* (4)ストラテジー（学習方略）

(5)学習者タイプ

3. 異文化理解と心理

(1)社会的技能・技術（スキル）

* (2)異文化受容・適応

(3)日本語教育・学習の情意的側面

(4)日本語教育と障害者教育

「言語と教育」区分

1. 言語教育法・実技（実習）

* (1)実践的知識・能力

* (2)コースデザイン（教育課程編成）、カリキュラム編成

* (3)教授法

* (4)評価法

* (5)教育実技（実習）

* (6)自己点検・授業分析能力

* (7)誤用分析

* (8)教材分析・開発

- * (9) 教室・言語環境の設定
 - * (10) 目的・対象別日本語教育法
 - 2. 異文化間教育・コミュニケーション教育
 - * (1) 異文化間教育・多文化教育
 - (2) 国際・比較教育
 - (3) 国際理解教育
 - * (4) コミュニケーション教育
 - (5) 異文化受容訓練
 - * (6) 言語間対照
 - (7) 学習者の権利
 - 3. 言語教育と情報
 - (1) データ処理
 - * (2) メディア／情報技術活用能力（リテラシー）
 - (3) 学習支援・促進者（ファシリテータ）の養成
 - * (4) 教材開発・選択
 - (5) 知的所有権問題
 - (6) 教育工学
- 「言語一般」区分
1. 言語の構造一般
 - (1) 言語の類型

- * (2) 世界の諸言語
- * (3) 一般言語学・日本語学・対照言語学
 - (4) 理論言語学・応用言語学
- 2. 日本語の構造
 - * (1) 日本語の構造
 - * (2) 音声・音韻体系
 - * (3) 形態・語彙体系
 - * (4) 文法体系
 - * (5) 意味体系
 - * (6) 語用論的規範
 - * (7) 文字と表記
 - (8) 日本語史
- 3. コミュニケーション能力
 - * (1) 受容・理解能力
 - * (2) 言語運用能力
 - * (3) 社会文化能力
 - * (4) 対人関係能力
 - * (5) 異文化調整能力

■ 『日本語教育能力検定試験』 関連分野の科目

学年	科目	単位
1	世界の言語	2
	日本語学	4
	日本語教授法	2
2	異文化コミュニケーション論	2
	日*比較文化論 注1	4
	ティーチング・インターンシップ	2
	Japan Studies I（宗教・思想）	4
	Japan Studies II（日本文学）	4
	Japan Studies III（文化史）	4
	Japan Studies IV（日本社会）	4
	Japan Studies V（経済）	4
Japan Studies VI（政治）	4	
3	現代言語学	4
	漢字文化論	4
	日本言語文化研究	4
	日本文化	4
	日本社会	4

履修上の注意点

注1 将来、日本語を教える相手の国や地域との比較文化論の科目を選択することが望まれます。

Ⅵ 履修モデル

国際関係学部では将来の活動分野を想定した履修モデルを設定しています。履修モデルとは入学から卒業に至るまでに修得すべき一連の履修科目の一例を示したものであり、皆さんの選択の余地を残しながら、一定の望ましい履修の形態をみなさんに伝えるガイドであると理解してください。したがって、履修モデルに記載された科目を取らなければならない訳ではありません。国際関係学部での4年間で自分は何を学ぶべきなのか、履修計画を決める際の参考としてください。

履修モデルについて説明します。「1 将来の活動分野」で活躍するために備えておくべき専門領域について「2 履修モデルの説明」に一例が記載されています。そして、その専門領域を究めるために履修すべき科目が「基礎科目」、「健康スポーツ科目」、「外国語科目」、「総合教育科目」、「学科共通専門科目」、「学部共通科目」の分野ごとに学年別に表中に記載されています。表中に記載された科目の中から取捨選択の上、表中にない科目についても各自関心のある科目については適宜追加しながら卒業要件（卒業に必要な単位数）に示された単位数を満たすように履修計画を立ててください。

注意 履修モデルに記載されたとおりに受講しないと卒業できないということではありませんので注意してください。

なお、卒業に必要な単位の修得方法はp.36～41を参照してください。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……国家・地方公務員、公共機関・団体職員を目指す。
- 2 履修モデルの説明…公務員等公共機関に必要な広い基盤知識、専門基礎を体系的に修得する。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件	
基 礎 科 目	◎国際関係論入門	2				13	
	◎国際文化論入門	2					
	◎スタディ・スキルズ	1					
	◎キャリアデザイン	2					
	◎日本近現代史	2					
	◎世界近現代史	2					
	◎情報処理	2					
健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康	2				3	
	◎スポーツ総合	1					
外 国 語 科 目	外国語①Ⅰ・Ⅱ	2・2				8以上	
	外国語①Ⅲ・Ⅳ	2・2					
総 合 教 育 科 目	哲学	2				20以上	
	歴史学	2					
	心理学	2					
	社会学	2					
	法学	2					
	日本国憲法	2					
	政治学	2					
	経済学	2					
	ジェンダーと社会	2					
	数理の世界	2					
	情報論	2					
調査統計論	2						
学 科 共 通 専 門 科 目	専 門 基 礎		◎国際関係論Ⅰ(理論)	2		44以上	
			国際法概論	2			
			国際経済学	2			
			国際政治学	2			
	国際関係学 関 連 科 目		平和学Ⅰ	4	国際機構論		4
		日本外交論	4	国際関係私法	4		
		安全保障論	4	日本の平和と安全保障	4		
		国際関係論Ⅱ	4				
国際ビジネス 関 連 科 目		企業論	4	現代経済社会	4	経済学特別研究	4
		情報メディアリテラシー	4	金融論	4		
		経済学原論	4	国際貿易論	4		
		経営学原論	4	国際金融論	4		
国 際 協 力 関 連 科 目		NGO/NPO論	4	地球環境問題	4		
		地方自治論	4				
演 習				◎ゼミナールⅠ	2	◎ゼミナールⅡ	2
学 部 共 通 科 目	地 域 研 究					36以上	
	観 光 交 流			地域振興論	4		
	専 門 外 国 語		専門外国語	4			
						124	

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければいけないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……国際機関職員を目指す。
- 2 履修モデルの説明…語学力に加え、国際政治、経済、法律知識とその応用基盤知識を体系的に修得する。

学年		1 年		2 年		3 年		4 年		卒業要件
科目区分										
基礎科目		◎国際関係論入門	2							13
		◎国際文化論入門	2							
		◎スタディ・スキルズ	1							
		◎キャリアデザイン	2							
		◎日本近現代史	2							
		◎世界近現代史	2							
		◎情報処理	2							
健康スポーツ科目		◎スポーツ科学と健康	2							3
		◎スポーツ総合	1							
外国語科目		外国語①Ⅰ・Ⅱ	2・2	外国語②Ⅰ・Ⅱ	2・2					8以上
		外国語①Ⅲ・Ⅳ	2・2	外国語②Ⅲ・Ⅳ	2・2					
総合教育科目		歴史学	2							20以上
		文化人類学	2							
		世界の宗教	2							
		社会学	2							
		法学	2							
		政治学	2							
		経済学	2							
		ジェンダーと社会	2							
		情報論	2							
		調査統計学	2							
学 科 共 通 専 門 科 目	専門基礎			◎国際関係論Ⅰ(理論)	2					44以上
				国際法概論	2					
				国際経済学	2					
				国際協力論	2					
	国際関係学 関連科目			国際法	4	国際連合論	4	国際関係学特別研究	4	
				平和学Ⅰ	4	国際政治史	4			
				国際関係史	4	国際機構論	4			
				国際関係史(or日本外交論)	4					
				安全保障論	4					
				国際関係論Ⅱ	4					
	国際ビジネス 関連科目			情報メディアリテラシー	4	現代経済社会	4	経済学特別研究	4	
				経済学原論	4	国際貿易論	4			
				経営学原論	4	国際金融論	4			
	国際協力 関連科目			NGO/NPO論	4	環境社会学	4			
	演習					◎ゼミナールⅠ	2	◎ゼミナールⅡ	2	
学 部 共 通 科 目	インター ナショナル スタディーズ			Japan StudiesⅤ(経済)	4					36以上
				Japan StudiesⅥ(政治)	4					
	地域研究					地域研究(概論)	4			
	専門外国語			専門外国語	4	専門外国語	4			
124										

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければならないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……金融・証券業界（銀行、生損保、FP、証券アナリスト等）を目指す。
- 2 履修モデルの説明…経済、法律を中心に広い知識基盤と専門基礎を体系的に修得する。

学年		1 年		2 年		3 年		4 年		卒業要件
科目区分										
基礎科目	◎国際関係論入門	2								13
	◎国際文化論入門	2								
	◎スタディ・スキルズ	1								
	◎キャリアデザイン	2								
	◎日本近現代史	2								
	◎世界近現代史	2								
健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康	2								3
	◎スポーツ総合	1								
外国語科目	外国語①Ⅰ・Ⅱ	2・2	外国語②Ⅰ・Ⅱ	2・2						8以上
	外国語①Ⅲ・Ⅳ	2・2	外国語②Ⅲ・Ⅳ	2・2						
総合教育科目	歴史学	2								20以上
	文化人類学	2								
	心理学	2								
	社会学	2								
	法学	2								
	政治学	2								
	経済学	2								
	商学	2								
	数理の世界	2								
	情報論	2								
調査統計論	2									
学科共通 専門科目	専門基礎		◎国際関係論Ⅰ(理論)	2						44以上
			国際法概論	2						
			国際経済学	2						
			国際経営論	2						
	国際関係学 関連科目		国際法	4	国際機構論	4				
		平和学Ⅰ	4	国際関係私法	4					
		国際関係論Ⅱ	4							
国際ビジネス 関連科目		証券市場論	4	金融論	4	経済学特別研究	4			
		企業論	4	財務管理論(or会計学)	4					
		簿記論	4	国際貿易論	4					
		ベンチャービジネス論	4	国際金融論	4					
		情報メディアリテラシー	4							
国際協力 関連科目		国際技術協力論	4	開発経済論	4					
				資源エネルギー論	4					
演習				◎ゼミナールⅠ	2	◎ゼミナールⅡ	2			
学部共通 科目	インター ナショナル スタディーズ		Japan StudiesⅤ(経済)	4					36以上	
	観光交流									
	専門外国語		専門外国語	4	専門外国語	4	専門外国語	4		
124										

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければいけないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……海外進出メーカー、商社等を目指す。
- 2 履修モデルの説明… 高い語学力と経済、経営、法律、国際関係を軸とする知識基盤と交渉力を体系的に修得する。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分	基礎科目	◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
	健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
外国語科目	外国語①②Ⅰ・Ⅱ 4・4 外国語①②Ⅲ・Ⅳ 4・4					8以上
総合教育科目	文化人類学 2 心理学 2 社会学 2 法学 2 政治学 2 経済学 2 商学 2 経営学 2 情報論 2 調査統計論 2 科学思想史 2					20以上
学 科 共 通 専 門 科 目	専門基礎		◎国際関係論Ⅰ(理論) 2 国際法概論 2 国際経済学 2 国際経営論 2			44以上
	国際関係学 関連科目		国際法 4 安全保障論 4	国際機構論 4 国際関係私法 4		
	国際ビジネス 関連科目		証券市場論 4 企業論 4 簿記論 4 ベンチャービジネス論 4 情報メディアリテラシー 4	流通経済学 4 財務管理論(or会計学) 4 国際貿易論 4 国際金融論(or金融論) 4 マーケティング論 4	経営学特別研究 4	
	国際協力 関連科目		NGO/NPO論 4	開発経済論 4 資源エネルギー論 (or地球環境問題) 4		
	演習			◎ゼミナールⅠ 2	◎ゼミナールⅡ 2	
学 部 共 通 科 目	インター ナショナル スタディーズ		Japan StudiesⅤ(経済) 4			36以上
	専門外国語		専門外国語 4	専門外国語 4	専門外国語 4	
						124

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければならないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……NGO/NPO, 新たな「公共」活動と関連交流組織, 機関を目指す。
- 2 履修モデルの説明…地域, 国際協力, 地球環境等に関連した知識を中心に基盤知識を体系的に修得する。

学年		1 年		2 年		3 年		4 年		卒業要件
科目区分										
基礎科目	◎国際関係論入門	2								13
	◎国際文化論入門	2								
	◎スタディ・スキルズ	1								
	◎キャリアデザイン	2								
	◎日本近現代史	2								
	◎世界近現代史	2								
	◎情報処理	2								
健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康	2								3
	◎スポーツ総合	1								
外国語科目	外国語①Ⅰ・Ⅱ	2・2	外国語②Ⅰ・Ⅱ	2・2						8以上
	外国語①Ⅲ・Ⅳ	2・2	外国語②Ⅲ・Ⅳ	2・2						
総合教育科目	倫理学	2								20以上
	文化人類学	2								
	世界の宗教	2								
	社会学	2								
	法学	2								
	経済学	2								
	経営学	2								
	ジェンダーと社会	2								
	生命の科学	2								
	情報論	2								
学科共通専門科目	専門基礎		◎国際関係論Ⅰ(理論)	2						44以上
			国際協力論	2						
			地球環境と持続可能な開発	2						
	国際関係学関連科目		国際法	4	国際機構論	4				
			平和学Ⅰ	4	国際関係私法	4				
国際ビジネス関連科目		情報メディアリテラシー	4	国際貿易論(or国際金融論)	4					
		経済学原論	4	現代経済社会	4					
国際協力関連科目		NGO/NPO論	4	開発経済論	4	環境倫理	4			
		開発教育論	4	交流マネージメント論	4					
		国際技術協力論	4	開発人類学	4					
		社会開発論	4	環境社会学	4					
		地方自治論	4							
演習					◎ゼミナールⅠ	2	◎ゼミナールⅡ	2		
学部共通科目	インターナショナルスタディーズ		海外実地研究Ⅲ	3						36以上
	地域研究				地域研究(概論)	4				
	観光交流		コミュニティ論	4						
			行政学	4						
専門外国語		専門外国語	4	専門外国語	4					
124										

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければいけないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……サービス業分野（旅行，運輸，不動産業界等）を目指す。
- 2 履修モデルの説明…経済，経営，流通，金融，観光，情報リテラシー等の基盤知識を体系的に修得する。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分	基礎科目	◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
	健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
	外国語科目	外国語①Ⅰ・Ⅱ 2・2 外国語①Ⅲ・Ⅳ 2・2				8以上
	総合教育科目	歴史学 2 心理学 2 芸術 2 社会学 2 法学 2 日本国憲法 2 経済学 2 経営学 2 ジェンダーと社会 2 情報論 2 調査統計論 2				20以上
学 科 共 通 専 門 科 目	専門基礎		◎国際関係論Ⅰ(理論) 2 国際経済学 2 国際協力論 2			44以上
	国際関係学 関連科目		国際法 4	国際関係私法 4		
	国際ビジネス 関連科目		証券市場論 4 企業論 4 ベンチャービジネス論 4 情報メディアリテラシー 4	金融論 4 流通経済学 4 財務管理論(or会計学) 4 マーケティング論 4		
	国際協力 関連科目			交流マネージメント論 4		
	演習			◎ゼミナールⅠ 2	◎ゼミナールⅡ 2	
学 部 共 通 科 目	インター ナショナル スタディーズ					36以上
	地域研究			日本社会 4		
	観光交流			文化政策論 4 国際観光経営論 4 国際観光文化論 4		
	専門外国語		専門外国語 4	専門外国語 10	専門外国語 2	
						124

※この履修モデルは参考例であり，履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり，その学年で履修しなければならないものではありません。各自，「履修上の注意点と科目」等を参照の上，年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位，4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①，2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……マスコミ、メディア・情報産業界を目指す。
- 2 履修モデルの説明…幅広い教養、専門基礎知識と情報関連知識を体系的に修得する。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分	基礎科目	◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
	健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
	外国語科目	外国語①Ⅰ・Ⅱ 2・2 外国語①Ⅲ・Ⅳ 2・2				8以上
	総合教育科目	哲学 2 倫理学 2 芸術 2 文学 2 世界の宗教 2 社会学 2 法学 2 日本国憲法 2 政治学 2 経済学 2 ジェンダーと社会 2 情報論 2 科学思想史 2				20以上
学科共通 専門科目	専門基礎		◎国際関係論Ⅰ(理論) 2 国際法概論 2 国際経済学 2 国際政治学 2			44以上
	国際関係学 関連科目		平和学Ⅰ 4 国際関係史 4 日本外交論 4 安全保障論 4 国際関係論Ⅱ 4	国際連合論 4 国際ジャーナリズム論 4 国際関係私法 4	国際関係学特別研究 4	
	国際ビジネス 関連科目		企業論 4 ベンチャービジネス論 4 情報メディアリテラシー 4	現代経済社会 4 金融論 4 財政学 4 経営情報論 4 マーケティング論 4	経済学特別研究 4 経営学特別研究 4	
	国際協力 関連科目		NGO/NPO論 4	資源エネルギー論 4 環境社会学 4		
	演習			◎ゼミナールⅠ 2	◎ゼミナールⅡ 2	
学部共通 科目	インター ナショナル スタディーズ		Japan StudiesⅤ(経済) 4 Japan StudiesⅥ(政治) 4			36以上
	地域研究					
	専門外国語		専門外国語 4	専門外国語 4		
						124

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければいけないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際総合政策学科

- 1 将来の活動分野……製造業一般（営業、事務職）、その他を目指す。
- 2 履修モデルの説明…法律、経済、金融、情報リテラシーを軸に、広く基盤となる知識を修得する。

科目区分		学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
基礎科目	◎国際関係論入門	2						13
	◎国際文化論入門	2						
	◎スタディ・スキルズ	1						
	◎キャリアデザイン	2						
	◎日本近現代史	2						
	◎世界近現代史	2						
健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康	2						3
	◎スポーツ総合	1						
外国語科目	外国語①Ⅰ・Ⅱ	2・2						8以上
	外国語①Ⅲ・Ⅳ	2・2						
総合教育科目	歴史学	2						20以上
	心理学	2						
	社会学	2						
	法学	2						
	日本国憲法	2						
	政治学	2						
	経済学	2						
	経営学	2						
	情報論	2						
科学思想史	2							
学 科 共 通 専 門 科 目	専門基礎		◎国際関係論Ⅰ(理論)	2				44以上
			国際法概論	2				
			国際経済学	2				
	国際関係学 関連科目		国際法	4	国際機構論	4		
			平和学Ⅰ	4	国際関係私法	4		
国際ビジネス 関連科目			安全保障論	4				
			国際関係論Ⅱ	4				
			企業論	4	財務管理論	4	経済学特別研究	4
			ベンチャービジネス論	4	国際貿易論	4	経営学特別研究	4
国際協力 関連科目			情報メディアリテラシー	4	国際金融論	4		44以上
			経営学原論	4	金融論	4		
					マーケティング論	4		
演 習					ビジネス統計演習	4		44以上
			国際技術協力論	4	資源エネルギー論	4		
					地球環境問題	4		44以上
					◎ゼミナールⅠ	2	◎ゼミナールⅡ	
学 部 共 通 科 目	インター ナショナル スタディーズ							36以上
	地域研究				地域研究(概論)	4		
	専門外国語		専門外国語	4	専門外国語	6		
								124

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければならないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際教養学科

- 1 将来の活動分野……旅行・観光業界，その他を目指す。
- 2 履修モデルの説明…外国語能力と旅行・観光業界への就職に必要な実務能力を身につける。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
基 礎 科 目	◎国際関係論入門	2				13
	◎国際文化論入門	2				
	◎スタディ・スキルズ	1				
	◎キャリアデザイン	2				
	◎日本近現代史	2				
	◎世界近現代史	2				
	◎情報処理	2				
健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康	2				3
	◎スポーツ総合	1				
外 国 語 科 目	外国語①② I・II	4・4				8以上
	外国語①② III・IV	4・4				
総 合 教 育 科 目	心理学	2				20以上
	社会学	2				
	法学	2				
	政治学	2				
	経済学	2				
	商学	2				
	経営学	2				
	ジェンダーと社会	2				
	情報論	2				
	調査統計論	2				
学 科 共 通 専 門 科 目	専 門 基 礎		◎国際文化論 2 ◎社会学概論 2			44以上
	国 際 文 化 関 連 科 目		日米比較文化論 4 日欧比較文化論 4	サブカルチャー論 4		
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 関 連 科 目		フィールドワーク 4 エスノグラフィー論 4	社会心理学 4 親族と婚姻論 4	カルチュラルスタディーズ 4 表象文化論 4	
	演 習			◎ゼミナール I 2	◎ゼミナール II 2	
学 部 共 通 科 目	イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル ス タ デ ィ ーズ		Japan Studies I (宗教・思想) 4 Japan Studies IV (日本社会) 4 Japan Studies V (経済) 4			36以上
	地 域 研 究					
	観 光 交 流		行政学 4	地域振興論 4 国際観光経営論 4 国際観光開発論 4 国際観光政策 4 国際観光文化論 4		
	ス ポ ー ツ 交 流					
	専 門 外 国 語		専門外国語 4	専門外国語 4	専門外国語 4	
						124

※この履修モデルは参考例であり，履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり，その学年で履修しなければいけないものではありません。各自，「履修上の注意点と科目」等を参照の上，年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位，4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①，2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際教養学科

- 1 将来の活動分野……製造・小売業、その他を目指す。
- 2 履修モデルの説明…外国語力と幅広い教養を身につけ応用力のある人材を育てる。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分						
基礎科目		◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
健康スポーツ科目		◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
外国語科目		外国語①Ⅰ・Ⅱ 2・2 外国語①Ⅲ・Ⅳ 2・2	外国語②Ⅰ・Ⅱ 2・2 外国語②Ⅲ・Ⅳ 2・2			8以上
総合教育科目		心理学 2 社会学 2 法学 2 政治学 2 経済学 2 商学 2 経営学 2 ジェンダーと社会 2 情報論 2 調査統計論 2				20以上
学 科 共 通 専 門 科 目	専門基礎		◎国際文化論 2 異文化コミュニケーション論 2 ◎社会学概論 2			44以上
	国際文化 関連科目		日米比較文化論 4 日中比較文化論 4 ヨーロッパ文化史 4	芸術表現論 4 日本語文化研究 4		
	コミュニ ケーション 関連科目		メディアと社会 4 エスノグラフィー論 4 文化人類学理論 4	親族と婚姻論 4 国際時事問題 4	カルチュラルスタディーズ 4	
	演習			◎ゼミナールⅠ 2	◎ゼミナールⅡ 2	
学 部 共 通 科 目	インター ナショナル スタディーズ		Japan StudiesⅠ(宗教・思想) 4			36以上
	地域研究			地域研究(概論) 4 日本宗教思想 4		
	観光交流		コミュニティ論 4 行政学 4	地域振興論 4		
	スポーツ交流					
	専門外国語		専門外国語 4	専門外国語 4	専門外国語 4	
						124

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければならないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際教養学科

- 1 将来の活動分野……インターナショナル・リゾートサービス企業を目指す。
- 2 履修モデルの説明…国際的な文化的知識と企画やサービス業務に必要な理論等を修得する。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分	基礎科目	◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
	健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
	外国語科目	外国語①Ⅰ・Ⅱ 2・2 外国語①Ⅲ・Ⅳ 2・2				8以上
	総合教育科目	哲学 2 倫理学 2 歴史学 2 文化人類学 2 世界の宗教 2 世界の言語 2 文学 2 社会学 2 法学 2 日本国憲法 2 政治学 2 ジェンダーと社会 2				20以上
学科 共通 専門 科目	専門基礎		◎国際文化論 2 ◎社会学概論 2			44以上
	国際文化 関連科目		日米比較文化論 4 日欧比較文化論 4 日中比較文化論 4 イスラム文化 4 アメリカ文化 4			
	コミュニケーション 関連科目		フィールドワーク 4 人権論 4	親族と婚姻論 4 国際時事問題 4	カルチュラルスタディーズ 4	
	演習			◎ゼミナールⅠ 2	◎ゼミナールⅡ 2	
学部 共通 科目	インター ナショナル スタディーズ	国際交流(外国語実習) 2				36以上
	地域研究			地域研究(概論) 4 地域研究(社会) 2		
	観光交流		コミュニティ論 4 行政学 4	国際観光経営論 4 国際観光開発論 4 国際観光政策 4 国際観光文化論 4		
	スポーツ交流			レクリエーション論 2		
	専門外国語		専門外国語 4	専門外国語 2		
						124

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければいけないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際教養学科

- 1 将来の活動分野……マスメディア・報道関係、その他を目指す。
- 2 履修モデルの説明…外国語能力とマスメディア・報道関係に興味のある学生向けモデル

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分	基礎科目	◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
	健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
外国語科目	外国語①②Ⅰ・Ⅱ 4・4 外国語①②Ⅲ・Ⅳ 4・4					8以上
総合教育科目	倫理学 2 歴史学 2 芸術 2 世界の宗教 2 世界の言語 2 社会学 2 政治学 2 経済学 2 ジェンダーと社会 2 情報論 2					20以上
学科共通 専門科目	専門基礎		◎国際文化論 2 異文化コミュニケーション論 2 ◎社会学概論 2			44以上
	国際文化 関連科目		現代思想 4 宗教文化 4	サブカルチャー論 4		
	コミュニケーション 関連科目		フィールドワーク 4 国際人口移動論 4 メディアと社会 4 現代社会学理論 4 人権論 4	社会福祉論 4 国際時事問題 4		
	演習			◎ゼミナールⅠ 2 ◎ゼミナールⅡ 2		
学部共通 科目	インター ナショナル スタディーズ		Japan Studies V(経済) 4 Japan Studies VI(政治) 4			36以上
	地域研究			日本政治 4 日本経済 4	地域研究(特別研究Ⅰ) 4	
	観光交流					
	スポーツ交流			スポーツと社会 2		
	専門外国語		専門外国語 4	専門外国語 4	専門外国語 4	
						124

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければならないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際教養学科

- 1 将来の活動分野……公務員、公共機関等の職員を目指す。
- 2 履修モデルの説明…公務員等に必要な幅広い教養と専門知識を修得する。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分	基礎科目	◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
	健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
	外国語科目	外国語①Ⅰ・Ⅱ 2・2 外国語①Ⅲ・Ⅳ 2・2				8以上
	総合教育科目	哲学 2 歴史学 2 文化人類学 2 世界の宗教 2 社会学 2 法学 2 日本国憲法 2 政治学 2 経済学 2 ジェンダーと社会 2				20以上
学科共通 専門科目	専門基礎		◎国際文化論 2 ◎社会学概論 2			44以上
	国際文化 関連科目		日米比較文化論 4 日欧比較文化論 4 日中比較文化論 4	サブカルチャー論 4		
	コミュニケーション 関連科目		メディアと社会 4 都市社会学 4 人権論 4 インターネット英語 2	社会福祉論 4 社会心理学 4 国際時事問題 4		
	演習			◎ゼミナールⅠ 2	◎ゼミナールⅡ 2	
学部共通 科目	インター ナショナル スタディーズ	国際交流(外国語実習) 2				36以上
	地域研究			地域研究(概論) 4 地域研究(歴史) 4		
	観光交流		コミュニティ論 4 行政学 4	文化政策論 4 地域振興論 4		
	スポーツ交流			スポーツ指導論 2 レクリエーション論 2		
	専門外国語		専門外国語 4	専門外国語 2		
						124

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければいけないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

国際教養学科

- 1 将来の活動分野……中学校・高等学校の英語教員（小学校・特別支援学校の教員）、教育機関職員を目指す。
- 2 履修モデルの説明…教員免許の取得と、教育に関する知識と方法・技術を修得する。

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件
科目区分	基礎科目	◎国際関係論入門 2 ◎国際文化論入門 2 ◎スタディ・スキルズ 1 ◎キャリアデザイン 2 ◎日本近現代史 2 ◎世界近現代史 2 ◎情報処理 2				13
	健康スポーツ科目	◎スポーツ科学と健康 2 ◎スポーツ総合 1				3
	外国語科目	英語①Ⅰ・Ⅱ 2・2 英語①Ⅲ・Ⅳ 2・2				8以上
	総合教育科目	哲学 2 倫理学 2 歴史学 2 文化人類学 2 世界の宗教 2 世界の言語 2 文学 2 社会学 2 法学 2 日本国憲法 2 政治学 2 ジェンダーと社会 2				20以上
学 科 共 通 専 門 科 目	専門基礎		◎国際文化論 2 異文化コミュニケーション論 2 ◎社会学概論 2			44以上
	国際文化 関連科目		日米比較文化論 2 アメリカ文化 4 英米文学史 2	英米言語文化研究 4		
	コミュニ ケーション 関連科目		開発教育論 4 人権論 4 英語コミュニケーションⅠ 2 英語コミュニケーションⅡ 2 英語文献講読 2 英語学 2 英語音声学 2 英文法 2 英作文 2 英語発達史 2 インターネット英語 2 ビジネス英語 2	社会福祉論 4 英語翻訳・通訳法 2 英語レクチャーシリーズ 2		
	演習			◎ゼミナールⅠ 2	◎ゼミナールⅡ 2	
	インター ナショナル スタディーズ	国際交流(外国語実習) 2				
学 部 共 通 科 目	地域研究			地域研究(概論) 2 地域研究(歴史) 4 地域研究(社会) 4		36以上
	観光交流			文化政策論 4		
	スポーツ交流			スポーツ指導論 2 レクリエーション論 2		
	専門外国語		英語Ⅴ 2 英語Ⅵ 2 英語Ⅶ 2 英語Ⅷ 2			
教 職	教育原論 2	現代教職論 2 発達と学習 2 教育制度論 2 英語科教育法Ⅰ 2 英語科教育法Ⅱ 2 道徳教育の理論と方法 2 特別活動論 2 教育の方法・技術論 2 生徒指導・進路指導論 2 教育実践体験研究Ⅰ 2 教育実践体験研究Ⅱ 2 学校インターンシップ 2	英語科教育法Ⅱ 2 英語科教育法Ⅳ 2 教育相談 2 教育実習事前・事後指導(3年次実習) 1 教育実習Ⅰ 4 介護等の体験 -	教職実践演習(中・高) 2 教育実習事前・事後指導(4年次実習) 1 教育実習Ⅰ 4	教職科目は卒業単位に含まれない	
124						

※この履修モデルは参考例であり、履修登録科目を強制するものではありません。

※上記表中の科目の学年はモデルであり、その学年で履修しなければならないものではありません。各自、「履修上の注意点と科目」等を参照の上、年間最高履修登録単位数（1年～3年：40単位、4年：48単位）の範囲内で優先順位をつけて履修計画を立ててください。

※◎は必修科目です。外国語科目は1言語目を①、2言語目を②と表記しております。1言語8単位以上を必ず修得しなければなりません。

Ⅶ 海外留学

留学を思い立ったら

留学には以下の種類があります。

- 派遣交換留学（本部枠・学部枠）
- ジョイント・ディグリー プログラム
- 中期留学
- 認定留学

上記は、通算2年を上限として、休学することなく学部の承認を得て留学（留学扱い）することができます。留学期間は修業年数に算入できるので、単位等の卒業要件を全て満たすことができれば、最短4年での卒業が可能です。

上記の他に、休学をして留学（留学扱いとならない）をする方法もありますが、休学期間は修業年数に算入されませんので、卒業時期は遅れることになり、単位認定も対象外となるので注意が必要です。

国際関係学部における留学に関する取扱い（2015年4月現在）

- ① 留学の期間は、留学先大学が定める1学期等とし、2年間を限度とします。
なお、留学を希望する学生は事前に必ず国際教育センターに相談してください。
- ② 留学の期間は、修業年数に算入することができます。
- ③ 留学期間中の学費は、留学在籍料として徴収し、学年の留学の場合12万円、学期の留学の場合6万円となります。
- ④ 外国の大学に留学中に修得した授業科目の単位認定にあたっては、成績証明書、時間数を示す書類、シラバス、授業での成果などをもとに認定科目と単位数を判断します。
 - ①単位認定の対象となる外国の大学とは、日本大学本部及び日本大学国際関係学部・短期大学部（三島）と学術協定を結んだ大学、並びに海外における正規の高等教育機関で学位授与権を有する大学とします。
 - ②①以外の教育機関については、日本大学本部及び日本大学国際関係学部・短期大学部（三島）と学術協定を結んだ大学に付属する教育機関に限り単位認定を行います。
- ⑤ 留学期間を修業年数に算入できるのは、事前に日本大学国際関係学部又は日本大学本部から承認された留学（留学扱い）のみとします。
- ⑥ 留学中に修得した授業科目の単位については、その科目の講義内容・履修時間数・成績等を勘案し、学部の承認を経て本学部の修得単位として認定されます。認定単位数は、単位互換科目、相互履修科目（遠隔授業を含む）、全ての留学の認定単位、その他の認定単位と合わせて計60単位以内（編入学者は別途対応）に限られます。

各種留学制度

◆概要

■海外提携校交換留学／派遣留学

日本大学本部又は国際関係学部が協定校として締結した高等教育機関に、大学や学部を代表する交換留学生として1学年相当期間派遣される制度です。派遣生は、現地学生と共に通常カリキュラムを履修することになり、一部を除いた受入先機関の授業料が免除される等の利点があります。派遣者の決定には所定の選考審査がありますので、詳細は募集要項等で確認してください。

※柳川海外交流奨学金による柳川奨学生（第1種）

日本大学名誉教授柳川三郎先生の寄付金を基金とした奨学金で、主としてドイツにおいて研究・研修を行う者に対する支援を目的とし、学部派遣交換留学プログラムにて、提携校のヨハネス・グーテンベルク大学への選抜試験に合格した学生に対して給付されます。留学プログラムの募集概要等については国際教育センターへ、奨学金の詳細については学生課へお問合せください。

■ジョイント・ディグリー プログラム

国際関係学部 に在籍する学生が、3年次後期より2年間アメリカのニューヨーク州立ストーニーブルック大学で修学し、最短4年間半で双方の大学の学士号を取得することを目的としています。派遣生募集概要等の詳細は、国際教育センターまでお問合せください。

■学部主催中期留学

- ① 学部が主催する約半年の留学プログラムです。国際関係学部が協定を結ぶ下記大学の付属語学学校等へ留学します。
 - ①アメリカ セント・ノーバート・カレッジ（8月出発）
 - ②インド ゴア大学（9月出発）
 - ③中国 北京大学国際関係学院（3月出発）
- ② 留学中に修得した授業科目の単位は、帰国後に募集ガイダンス時に配布される学部承認済の「中期留学単位認定読替表」に従い「中期留学生修得単位認定願」を作成の上提出し、学部の承認を得た場合は、学部規程に基づき卒業に必要な単位として認定されます。

■認定留学

- ① 国際関係学部 に在籍する学生が、次の条件を満たし、事前に学部の承認を得た場合は、休学することなく、認定留学として外国の大学に留学することができます。
 - ① 外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、またはその付属の教育機関を指します。
 - ②当該外国の大学で学修することが、教育上有益であると認められることが必要です。
 - ③当該学生が外国での教育を受け得るだけの能力を有していることが必要です。
- ② 留学の期間は、留学先大学が定める1学期等とし、2年間を限度とします。
なお、留学を希望する学生は、事前に必ず国際教育センターに相談してください。
- ③ 留学の期間は、修業年数に算入することができます。
- ④ 留学中に修得した授業科目の単位は、p.71「国際関係学部における留学に関する取扱い」の4に該当する教育機関から付与された場合のみ申請ができます。

◆申込み方法等

■日本大学本部及び国際関係学部派遣交換留学

- ① 日本大学本部の派遣交換留学の留学説明会及び募集要項は日本大学本部国際交流室ホームページにて周知されます。日本大学本部が取扱窓口となりますので、募集要項に従い直接申し込み手続きを取ってください。ただし、申込書類のコピーを国際教育センターに提出してください。
- ② 国際関係学部の派遣交換留学の募集要項は4月に実施する留学ガイダンスで配布されます。国際教育センターが取扱窓口となりますので、募集要項に従い申し込み手続きを取ってください。
- ③ いずれの派遣交換留学の場合も、合格者は国際教育センターを通じ速やかに所定の留学手続きを取ると共に、留学出発までに留学アドバイザーと面談し留学中の履修計画につき十分に相談してください。

■ジョイント・ディグリー・プログラム

- ① ジョイント・ディグリー プログラム応募者は8月の留学開始時に3年次の学生であることが条件であり、また申し込み期間までにTOEFL-iBT®スコア、累積GPA等の留学応募条件を満たしていることが必要です。
- ② プログラムに興味のある場合は、国際教育センターで募集要項を入手し、事前にプログラムの詳細、及び応募要件を確認してください。
- ③ 留学先であるニューヨーク州立ストーニーブルック大学より入学許可を得た学生は国際教育センターを通じ速やかに所定の留学手続きを取るとともに、留学出発までに留学アドバイザーと面談し留学中の履修計画について十分に相談してください。

■国際関係学部主催の中期留学

- ① 北京大学国際関係学院（中国）、セント・ノーバート・カレッジ（アメリカ）、ゴア大学（インド）への中期留学については、それぞれ参加者募集の説明会に参加し、応募資格、留学プログラムの概要、帰国後の単位認定の条件等につき確認してください。説明会の開催日程については、国際研究室前掲示板などで確認してください。
- ② 参加志望者は、募集要項に記載された申込手続きに従って、所定の期日までに申し込んでください。なお、留学先によってはその他の書類（TOEFL®スコア等）の提出が求められる場合もありますので、必ず事前に確認してください。

申込み提出期限目安（※正確な期日については、国際教育センター及び、掲示等で確認してください）

セント・ノーバート・カレッジ、ゴア大学……4月

北京大学……11月

■認定留学

- ① 本部及び学部派遣交換留学又は学部主催の中期留学以外での留学をする場合は、まず国際教育センターで認定留学に関する手続き（認定留学許可、学費免除規定、留学単位認定等）の説明を受けてください。また、各大学等への入学審査等の時間も考慮し、留学希望時期よりも最低でも半年前からは準備を始めるようにしてください。

日本大学海外学術交流協定校（2015年4月現在）

日本大学では、海外の主要な大学と学術交流協定を締結しています。この協定に基づいて教職員の交流、共同研究の計画実行、留学生の交換、学生の短期研修、学術文化の交流などを行っており、協定校は15カ国43機関に及んでいます。

オーストラリア	マッコーリ大学	クィーンズランド大学
ブラジル	サンパウロ大学	
カナダ	トロント大学	
中国	成都大熊猫繁育研究基地 中国管理科学学会 中国伝媒大学 福建師範大学 福建省富閩基金会及び福建省対外友好協会 遼寧大学	北京大学 遼寧省人民政府 山東大学 新疆医科大学 鄭州大学
台湾	国立中興大学	国立台湾大学
フィンランド	ラッペンランタ大学	
フランス	アヴィニョン大学	
ガーナ	ガーナ大学	
ドイツ	ベルリン自由大学	ヨハネス・ゲーテンベルク大学
韓国	高麗大学校 慶熙大学校	延世大学校
ロシア	モスクワ国立国際関係大学	ロシア科学アカデミー
スペイン	マドリード・コンプルテンセ大学	バリャドリッド大学
スウェーデン	ストックホルム大学	
イギリス	ケンブリッジ大学	
アメリカ	エリザベスタウン・カレッジ ジョージ・メイソン大学 アラバマ大学バーミンガム カリフォルニア大学サンタバーバラ校 ケント州立大学	ハワイ大学マノア校 オレゴン大学 ワシントン州立大学 ウェスタンミシガン大学
アイルランド	メイヌース大学	
デンマーク	オーフス大学	
オーストリア	クレムス応用科学大学	

国際関係学部海外学術交流覚書・合意書締結校（2015年4月現在）

国際関係学部では、15カ国30大学等と覚書・合意書を取り交わし、学術・文化の交流を行っています。この覚書・合意書に基づき、交換留学生やインターンを派遣しています。

覚書

オーストラリア	マッコーリ大学
中国	北京大学国際関係学院
フランス	西カトリック大学 フランス経済商科大学
ドイツ	ヨハネスゲーテンベルク大学
インド	ゴア大学
韓国	慶熙大学校国際・経営学部
ニュージーランド	WITT (Western Institute of Technology at Taranaki)
フィリピン	デ・ラ・サール大学教養学部
スペイン	バリャドリッド大学、サラマンカ大学
タイ	アサンブション大学
インドネシア	インドネシア教育大学
アメリカ	カリフォルニア大学サンタバーバラ校 ペンシルヴェニア州立大学 フェリシアン大学 セント・ノーバート・カレッジ ニューヨーク州立ストーニーブルック大学 モンタナ州立大学
コロンビア	ノルテ大学

合意書

韓国	韓国カトリック大学校 白石大学校・白石文化大学校 蔚山大学校国際教育部 世宗大学校 崇實大学校 東国大学校
台湾	静宜大学
オーストラリア	サンシャインコースト大学
中国	同済大学外国語学院 河南大学経済学院

ティーチング・インターンシップ・プログラム

国際関係学部では海外の小・中学校及び高等学校との間に締結された「ティーチング・インターンシップ・プログラム」合意書に基づき、毎年、学部生をティーチング・インターンとして派遣しています。ティーチング・インターンシップ・プログラムの主な目的は、国際的な視野を持ち、異なる文化価値を理解し、あらゆる国際的な状況下で柔軟に対応しながら行動できる個人を養成することです。このプログラムは事前研修と実習の2つから構成されています。事前研修では、日本語教授法を効果的に取り入れながら、日本文化を派遣先の言語や日本語で紹介する能力を養成します。実習は海外の派遣校において約8週間行われます。授業や課外活動における教員、児童・生徒たちとの交流、またはホストファミリーとの交流により、教育体験と生活体験の双方から言語運用能力とコミュニケーション能力を養成し、その地域の文化や価値観を尊重できる柔軟さを身につけます。

毎年4月に国際教育センターによる説明会が行われ、参加希望学生には募集要項が配布されます。

(1) 派遣先(2014年度の例)：

- ・アメリカ サウス・カロライナ州
Discovery School of Lancaster

- ・ニュージーランド ニュープリマス市
Devon Intermediate School
Highlands Intermediate School
West End School

- ・オーストラリア タウンズビル市
Belgian Gardens State School
Ryan Catholic College
Saint Anthony's Catholic College

- ・モンゴル ダルハン市
ナラン学校

(2015年度追加予定 スペイン サラマンカ市 サレジオ学園)

- (2) 派遣時期：例年2月上旬～3月下旬 約8週間
ナラン学校のみ9月中旬～11月中旬
- (3) 募集定員：若干名(2014年度は13名派遣)
- (4) 選考方法：書類選考、TOEFL®テスト、面接、事前研修の成績等により総合的に判定します。

- (5) 事前研修：派遣候補者には、現地で授業を行う能力の向上のため、事前研修を行います。英語又は日本語で模擬授業を行い、日本語・日本文化に対する基礎事項、授業運営の方法について学びます。
- (6) 単位認定：所定の条件を満たすことにより、事前研修と実際の派遣を併せて「ティーチング・インターンシップ」（2単位）として単位が認定されます。
- (7) 備考：派遣先によって、派遣時期、選考方法、事前研修内容が異なります。説明会で確認してください。

Ⅷ 日本大学学則（抜粋）

第1節 目的及び使命

第1条 本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。

第2条 本大学は、広く知識を世界にもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

第5節 学年・学期及び休業日

第13条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第14条 学期は、次のとおりとする。ただし、事情によって異なる場合がある。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から3月31日まで

第15条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日でも特に授業又は試験を行うことがある。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ③ 本学創立記念日（10月4日）
- ④ 春季休業 3月11日から3月31日まで
- ⑤ 夏季休業 7月11日から9月10日まで
- ⑥ 冬季休業 12月21日から翌年1月10日まで

2 休業日の変更及び臨時の休業日については、そのつどこれを定める。

第6節 入学・在学・転学・転籍・休学・留学・退学及び除籍

第16条 入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

第19条 入学を志願する者は、各学部所定の手続によって願出のものとする。

第20条 入学の選抜試験に合格した者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

第21条 修業年限は、最低4年とし、在学年数は、8年を超えることができない。

3 前2項の規定にかかわらず、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて在学年数の期限内の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

4 第1項の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、本大学に3年以上在学した者（これに準ずる文部科学大臣の定める者を含む）が、卒業の要件として定め

る単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、その卒業を認めることができる。

第23条 本大学に編入学，転学又は本大学内において転部科，若しくは転籍した者は，その学部に2年以上在学しなければ卒業することができない。ただし，第21条第4項の規定に該当する場合はこの限りではない。

第24条 本大学の通学の課程と通信教育課程との間には，事情により選考の上，相互の転籍を許可することがある。この場合既に修得した授業科目は，転籍した課程の定める基準の範囲内において認定することができる。

第25条 病気その他やむをえない事由により，引き続き3か月以上出席することのできない者は，その事実を証明する書類を添え，保証人連署で願い出て，その許可を得て休学することができる。ただし，休学期間は1年以内とし，なお，休学を要する者は，許可を受けて更に1年以内の休学ができる。

第26条 休学者は，学期の始めでなければ復学することができない。

第27条 休学期間は，修業年数に算入しない。

第27条の2 本大学が教育上有益と認めるときは，休学することなく，外国の大学に留学することを許可することがある。

2 留学の期間は，修業年数に算入する。

第28条 病気その他やむをえない事由のため，退学しようとする者は，その事実を証明する書類を添え，保証人連署で退学願を提出して，許可を受けなければならない。

第29条 正当な理由で退学した者が，当該学部に再入学を志望したときは，選考の上許可することがある。この場合には，既修授業科目の全部又は一部の再履修を命ずることがある。

第30条 故なくして3か月以上学費の納付を怠った者は，これを除籍することができる。

第31条 故なくして欠席が長期にわたる者は，これを除籍することができる。

第7節 履修規定

第32条 各授業科目の単位数は，1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により計算するものとする。

- ① 講義及び演習については，15時間から30時間までの範囲で学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - ② 実験，実習及び実技については，30時間から45時間までの範囲で学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - ③ 講義，演習，実験，実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合については，その組み合わせに応じ，前二号に規定する基準を考慮して学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず，卒業論文，卒業研究，卒業制作等の授業科目については，

これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第33条 教育職員の免許状を得ようとする者は、別に定める規定によって教職課程を履修しなければならない。

第34条 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって、これを定める。ただし、授業科目によっては、その他の方法で査定することができる。

2 試験には平常試験・定期試験・追試験・再試験及び卒業試験等がある。定期試験は学期末又は学年末に行い、追試験は、やむをえない事故のため定期試験を受けることのできなかった者のために行い、再試験は受験の結果不合格となった者のためにこれを行う。

3 追試験及び再試験は当該学部において必要と認めたときに限り、これを行う。

第35条 修学についての所定の条件を備えていない者は、受験資格を失うことがある。

第36条 学業成績の判定は、S、A、B、C及びDの5種をもってこれを表し、Sは90点以上、Aは80点以上、Bは70点以上、Cは60点以上、Dは59点以下とし、S、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。合格した授業科目については、所定の単位数が与えられる。

2 成績評価を係数化する必要のある場合は、S、A、B、C及びDをそれぞれ4、3、2、1及び0に換算する。なお、係数化についての事項は別に定める。

第37条 各学部を卒業するために必要な最低単位数は、第2章教育課程及び履修方法に定めるところによる。

2 学生が許可を受けて在籍する学部以外の学部で履修した授業科目の単位については、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 前項に定める授業科目の履修については、別に定める。

4 学生が許可を受けて他の大学又は短期大学で履修した授業科目の単位については、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

5 前項の規定は、学生が許可を受けて外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

6 学生が許可を受けて行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修は、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。

7 学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位については、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

8 学生が本大学に入学する前に行った第6項に規定する学修は、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。

- 9 第2項、第4項、第5項及び第7項により修得したものとみなす単位並びに第6項及び第8項により与えることのできる単位は、合わせて60単位を超えない範囲で、卒業するために必要な単位数に算入することができる。

第8節 卒業及び学士の学位

第38条 第21条に定めた修業年限に達し、所定の授業科目及び単位を修得し、卒業した者に学士の学位を授与する。

第39条 前条の学位に付記する専攻分野の名称は次のとおりとする。

国際関係学部 国際関係

第9節 学費及び貸給費

第40条 授業料その他所定の学費は、別表2の定めるところにより納付するものとする。

第41条 授業料を分納しようとする者は、事由を述べた書面により、保証人連署で願い出るものとする。

第42条 試験料・論文審査料・その他各種の手数料等については別表3の定めるところにより納付するものとする。

第43条 既納の学費は、いかなる理由があっても返還しない。

第44条 停学を命ぜられた学生は、停学期間中も授業料を納付しなければならない。

- 2 休学及び留学を許可された学生の休学及び留学期間中の学費の取り扱いについては、別に定める。

第45条 学業人物ともに優秀な学生であって、学費支弁の方法のない者には、学費を減免し、又は貸与・給付することがある。

- 2 減免・貸給費については、別に定める。

第10節 委託生及び外国人留学生

第46条 国又は公共団体から、一定の在学期間と履修科目とを定めて、入学を願い出た者に対しては、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

第47条 委託生の入学資格については、第18条の規定を準用する。

第48条 委託生は、その履修した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、願い出によって単位取得証明書を与えることができる。

第49条 委託生として4年以上在学し、所属学部における所定の単位を修得した者には、学士の学位を授与する。

第50条 委託生の授業料その他本大学に納付するために必要な学費は、委託者から納付するものとする。

第51条 外国人留学生の入学及び転・編入学については、第6節の規定を準用する。ただし、

特別に選考を行い入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生については、学修の必要に応じて第2章に掲げる授業科目の一部に代え又はこれに加えて日本語科目及び日本事情に関する科目（以下「日本語科目等」という）を開設することができる。
- 3 前項に定める日本語科目等の授業科目については、当該学部の教授会がこれを定める。
- 4 帰国生についても第1項及び第2項の規定を準用することができる。

第52条 委託生、外国人留学生に関して、本節各条に規定しない事項については、学部学生に関する規定を準用する。

第11節 科目等履修生・聴講生・特別聴講学生及び研究生

第53条 学部の授業科目中の1科目又は数科目の履修を希望する者に対して、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生の出願手続等については、別に定める。

第54条 科目等履修生は、履修した授業科目について、試験を受けることができる。試験に合格した者には、所定の単位を与えることができる。

第55条 学部の授業科目中の1科目又は数科目の聴講を希望する者に対して、聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生の出願手続等については、別に定める。

第57条 各学部において、特殊な事項に関する研究に従事しようとする者に対しては、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生は、指導教員の個人指導を受けて研究に従事するものとする。

第58条 研究生として入学することができる者は、その学部において選考の上、適当と認められた者に限る。

第59条 研究生として入学を志願する者は、所定の出願書類に研究しようとする事項を記載して、学期の始めに願出するものとする。

第60条 研究生の在学年限は、1年とする。ただし、事情によって期間の延長を願出することができる。

第61条 研究生は、指導教員及び担任教員の承諾を経て、学部の講義・演習及び実験等に出席することができる。

第62条 研究生として、相当の成績を示したと認められる者には研究証明書を与える。

第63条 研究生に関して、本節各条に規定しない事項については、学部学生に関する規定を準用する。

第14節 賞 罰

第75条 人物及び学業成績が優秀な者には、授賞することがある。

2 授賞に関する規定は、別に定める。

第76条 学生が本大学の規則・命令に背き若しくは大学の秩序を乱し、又は学生としての本分に反する行為があった場合にはその情状によって懲戒を行うことがある。

第77条 懲戒は、退学・停学及び訓告の3種とする。

2 前項の退学は次の各号の一に該当する者について行う。

- ① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当の理由がなくて出席常でない者
- ④ 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

3 懲戒の手續に関する規定は、別に定める。

第15節 寄宿舍

第78条 寄宿舍に関する規定は、別に定める。

Ⅹ 部科校所在地一覧

日本大学本部

〒102-8275 千代田区九段南4-8-24

法学部

〒101-8375 千代田区三崎町2-3-1

JR総武・中央線, 都営地下鉄三田線「水道橋」
駅下車徒歩3～4分
都営地下鉄新宿線・三田線, 東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅下車徒歩5分

文理学部

〒156-8550 世田谷区桜上水3-25-40

京王線, 東急世田谷線「下高井戸」駅下車徒歩
10分
京王線「桜上水」駅下車徒歩10分

経済学部

〒101-8360 千代田区三崎町1-3-2

JR総武・中央線, 都営地下鉄三田線「水道橋」
駅下車徒歩3～4分
都営地下鉄新宿線・三田線, 東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅下車徒歩5分

商学部

〒157-8570 世田谷区砧5-2-1

小田急線「祖師ヶ谷大蔵」駅下車徒歩12分
小田急線「成城学園前」駅下車バス5分

芸術学部

〒176-8525 練馬区旭丘2-42-1

西武池袋線「江古田」駅下車徒歩3分

【所沢校舎】

〒359-8525 所沢市中富南4-21

西武新宿線「航空公園駅」, JR武蔵野線「東所
沢駅」よりバス15分

国際関係学部

〒411-8555 三島市文教町2-31-145

【北口校舎】

〒411-8588 三島市文教町1-9-18

理工学部

【駿河台校舎】

〒101-8308 千代田区神田駿河台1-8-14

JR総武・中央線, 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」
駅下車徒歩3分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅下車徒歩
3分
都営地下鉄新宿線「小川町」駅下車徒歩7分

【船橋校舎】

〒274-8501 船橋市習志野台7-24-1

東葉高速線「船橋日大前」駅下車徒歩1分

生産工学部

〒275-8575 習志野市泉町1-2-1

JR総武線「津田沼」駅北口下車バス10分
京成本線「京成大久保」駅下車徒歩10分

工学部

〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原1

JR東北新幹線・東北本線「郡山」駅下車バス20分
JR東北本線「安積永盛」駅下車徒歩15分

医学部

〒173-8610 板橋区大谷口上町30-1

東武東上線「大山」駅下車徒歩15分
池袋駅西口バス20分

歯学部

〒101-8310 千代田区神田駿河台1-8-13

JR総武・中央線, 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」
駅下車徒歩2～5分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅下車徒歩
2分
都営地下鉄新宿線「小川町」駅下車徒歩7分

松戸歯学部

〒271-8587 松戸市栄町西2-870-1

JR常磐線, 東京メトロ千代田線, 新京成電鉄「松
戸」駅下車バス15分

生物資源科学部

〒252-8510 藤沢市亀井野1866

小田急江ノ島線「六会日大前」駅下車徒歩2分

薬学部

〒274-8555 船橋市習志野台7-7-1

東葉高速線「船橋日大前」駅下車徒歩7分
新京成電鉄「北習志野」駅下車徒歩20分

通信教育部

〒102-8005 千代田九段南4-8-28

JR総武・中央線, 東京メトロ有楽町線・南北線,
都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」駅下車徒歩3分

索引

あ

インターネット・携帯電話を利用した 休講情報	4
遠隔授業	48

か

海外留学	71
外国語履修条件等	42
介護等の体験	51
各種証明書	19
学生証再発行	11
学部の概要	1
科目一覧（国際教養学科）	40
科目一覧（国際総合政策学科）	38
仮学生証（試験受験用）	11
休学・復学・退学	17
休学の手続き	17
休講措置	3
教育実習	51
教室変更	3
教職課程	49
欠席	5
国際関係学部海外学術交流覚書・合意書締結校	74
国際交流（外国語実習）	45

さ

GPA制度	13
試験	8
試験欠席届	10

就職活動による授業欠席届	7
授業	3
授業欠席届	6
授業の形態	20
受講届	21
ジョイント・ディグリー・プログラム	72
小学校教員養成特別プログラム	52
証明書自動発行機	19
成績と単位	13
ゼミナール・卒業論文	43
相互履修科目	46
卒業の要件	36

た

退学の手続き	18
単位認定	15
単位互換科目	47
追試験	8
定期試験	8
ティーチング・インターンシップ・プログラム	75
中期留学	72

な

「日本語教育能力検定試験」関連分野科目	53
日本大学海外学術交流協定校	74
日本大学学則（抄）	77
認定留学	72

は

派遣交換留学 71, 72
 部科校所在地一覧 83
 復学の手続き 17
 補講 3

ま

や

柳川海外交流奨学金による柳川奨学生
 72

ら

履修から単位修得までの流れ 20
 履修上の注意点 37
 履修単位の制限 22
 履修登録 20
 履修登録の削除・追加 22
 履修登録の注意点 21
 履修モデル（国際教養学科） 65
 履修モデル（国際総合政策学科） 57
 留学の種類 71
 レポート 12

わ

平成27年 3 月25日印刷

平成27年 4 月 1 日発行

編 集 日本大学国際関係学部学務委員会

発 行 日本大学国際関係学部教務課
〒411-8555 静岡県三島市文教町2-31-145
TEL (055) 9 8 0 - 0 8 0 2 番

印 刷 株式会社 文光堂印刷
静岡県沼津市西間門68-1
